



一、右、古流ヲ趣意シ遣力ハ候次第太刀合長也。

相槌合ノ分ケ
初心ノ為書アラハス

一 太刀令太刀遣方柳生流也其柳生流相平

ト
り
候
下
也

一本目張亂心多理

初太刀力ス

様方太力取候

天ノ下ノ取

今日自由

卷之八

之

女出入時、又文字、時中、取中、段、取紅

日太刀取カッパ

三寸合る知刀紅也ナリト二足結ル太刀舌相来。十文字至

天ヶんろ
お出也ま

お太力初メツク如く太力ライニ取右ノ額ノ角ニ齒持居ルヲ初

力に初より

不仁之徒、
各々遺へ合ふ

出也

流義ヲワサシテシラス違フ故冬キ合ナカラマカセ、違フ流義ハ骨折「ト」ナク
先ノカラ用違フ後行ハ一生槍、取ワケヨク吞込終行肝要也
歩立、我物、シテ自由ミイカ
程亦太カ寄
来ルトモ自由
見タル親ノ
如クユラミ
ワサシテ自由
スル「ト」死カ
ワサセ一
心モ
我カノ
心持肝要
ナリヨク
ナリヨク
又ヘシ

手放、牙ハカル也、依ホ、勝負ナシ「ト」カクノ
別「ト」ナ
スベテ違フモ、太カモ勝負ナキ「ト」カクノ
スヘシ、長カ槍相モ同也、二ノ勝三ノ勝、四ノ勝、五ノ勝也
此、大車也、相モ、身、曲、槍、曲、違カ、負也
初、心、遣、秋、中、段、ヨリ、違、初、二、足、二、遣、候、也、夫、ラ、中
村、市、左、衛、門、尚、政、趣、意、テ、二、足、半、跡、エ、ク、ロ、ケ
二、足、半、ノ、処、ハ、テ、太、カ、五、二、寸、組、合、処、紅、也

夫ヨリ子リ「ト」仕、武、采、角、ニ、テ、引、別、ル、
ワカル、時、附、引、也、此、附、引、ノ、口、傳、ナ、ク、テ、ハ、
分、リ、カ、子、ル、也

一 二足半ニテ太カ「ト」二寸組合ス処カ紅ヲ附ク処也
表ハ亦太カノ方ヨリ先ハ違フ物也、表遣候
ニ急クハ、思シ「ト」カク、遠キ間ハ子リ「ト」遣
フベシ、二尺ノ間、迫ハ、イ、ソ、グ、ハ、惡、シ、一、尺、ノ、間、
是、近、間、立、早、ク、勝、ッ、心、得、ヨ、シ、勝、子、ハ、ト、カ
ク、脇、壺、カ、面、腰、シ、廻、也、勝、結、ノ、ワ、サ、ハ、髻、古、ナ、ク、テ、ハ、
知、カ、タ、シ、習、請、ヘ、シ、
一 勝、我、カ、勝、子、ミ、ア、ラ、ス、敵、ノ、備、ハ、思、キ、モ、マ、ケ、ル
ト、カ、ク、身、ノ、曲、槍、ノ、カ、子、タ、タ、シ、ク、備、エ、サ、エ、違

ハ子ハ負ルヲ央シテナシ勝テ氣ハ忘レシ負又心
得テ第一也但勝ハ水ノコトシ

二本目 虎乱心持強キタグマシキ処ラ玄心得ベシ

赤太刀インニ取リタル処ニ遣方下段ニテ一足出紅付ニ足付ニテ紅池

ワサミ取りテハ少シモ由ナクイカニ歌名人強次

イニヨリ切リ掛ルヲ中段ニツル是モ勝ニアラズ

ハスレ候後カニ目ノ勝也カニハツカニ勝サシ

也
 取候太刀在中村力趣意也
 是牙ト云テ

二足半クッロケル処ハ斬同シ

本目歩留間積リ第一ノ一也勝負ハ思ハ
方太力脇構ヘ取タル処上段ニ仕裁ケルナリ

上段ニテ仕截ル処
う脇力マヨリ太刀切先
上リ

拵中段ハツル是コノ儘ニテ勝付ケ

采角ノ別也
尚政趣意ハ紅ハ間ノ外ニ于実
太刀三寸組合ナク組合候程ノ仕掛也

トカリ間ノ外ニ
改趣意深ク
届ク程ノ心得中村ノ趣意也中村ハ上
心ハ分り兼候
7多シ

第一一舉一ツラア名ト云セツラア名トハ業熟シテタカイ人念ナク心ノ
長力合初ハ上段出ス穴澤流ノ上ノ也是モ太力

ト同シ也
サ太力切出スト
遺歌モ水月ナリ
太力ト同シ

中段ニ是ハ切尖五寸ニ組合ス也ナリト仕掛ル也
明ニ敵ヲ報効シテテ勝入也然レトモ二日三回四日五ノ日

手角、別、勝、引、別、也、尤、附、引、ナリ

 勝ナリ此如ヨクカチニ入ヘシ

一

第二本目 異曲 イキヨクハ一ツノコトナレドモ心也ワサ懸シクテ
長刀合二本目ハ瀧流オ太刀ノ方構へ仕寄也
ワサモ心モ身ノ曲鎧ノ曲破リナク至リク名ガイキヨクナリ
遣ニ上段ニテ紅ヨリ仕裁ル長刀左ヨリ右へ構
フ也十文字ハ中段ニハツレルニ目ナク勝ツテ引
ナク全ク遣フヘ勝テハシセニナリ異曲叶
別ル也

一

第三赤肉圖是ハ神心意也心持ノ上ノ業モ宅身ノ曲鎧ノ曲
長刀合二本目オ太刀下段ニテ初ノ長刀又右へ向ク
仕掛サマニ右ハ又白ケ又又右ハ白ケナカテ十文字ヲ冠
リ上ニテ十文字モ下段ハ水月留仕裁長刀ヲ冠リ
カエス長刀切入処ヲ前へヌケ返勝付引別ル也
ワサニテ云時ハ
近間ハ深ク
冠直勝遠
間ナレ冠上ニ
ナリトモナリ
槍組ニシ

一

第二機ヒトツノハタモノ是モタトヘハ持ナリ機持者ノ
槍合ノ初直鎧無偏流直槍ダゲタン持オ太刀キ
アヤシタニレシタル故アヤシ見何ト云フニルナリ
ヒシクシカケ遣身ノ面ヲ身ヲ入フカク突ナリ
知サレ者ハ分ラス業ニトリテモ其如ク指白イ敵ノ
十文字モ下段ニ水月ニトメ一足踏出直槍深ク
ウデキモ何モ見テラツキト云突入セシタタルナリハ
キヒシク突来ル故フト一前足引キ先取カエシテ
先ニク取返スヘシトカリバノウキハ敵ニ取アル也
冠也直槍引トルヘリ下段返合シカケル打太刀モ
是ニカキラス皆其心得大事也アヤシシテ記ス也
引ナカラ合アイヲ返シ遣身ノ面へ突也其時

十文字ハ直槍ヲキツテ捨テ勝付ル乎クノ別レ

ナリ

持トナレハ此心ハ不用皆自分ノキ合マキナト
トカク間モ不構メツタニ勝入ルハ斗也終行
ナク自分ノ槍也槍突テナシタキ合ナシ棒ナリ

ナシ是ヨク心得ヘシ槍突出ス時ハヨク見切必勝
ノ時ナラテハ突出スフナシト云フ也メクタニ突フナシ

一機ハ一ノハタ物也直槍上段ヨリ下段ニヨロシタル処ヲ歌ニ

一槍合ニ本目相上段西方ヨリ仕截直槍下

段ヨロス也遣身ヨリ下段下シ候直槍ヲシ

多ヨリ歌ニ知ラセメ様ニスクイ上ル也直槍ハ

スクハマシトハズ、処ヲ十文字ニテ切テ捨ル

也師ナク遣フ休ムニ似タリメワ偏ヲ掛遣フ

事ムタ遣フ也ヨク心得ヘシ

一槍合ニ本目相下段也亦太刀下段ニテ仕掛

遣身下段ニテ一足進ム亦太刀近ク成程十

文字ノ切尖シタル也直槍突出処ヲ十文字

ハ子上ケ冠リ入也此ハ子上ル処大事也タタ

冠リト斗心得ルハ思シシハ子ル処ヨク心得ヘシ

右ハ子上勝入也然シ亦太刀上手故テ角ノ

別レトナル也亦太刀下手ナレハ直勝入也

釋尊ノ谷ハ無益ノ方心廻シ重ク患フ故テ明不申

也カセラハサトリ得シト見ヘ早速見フ成ト答也

口サニ取テハ直槍イワ仕截役得ハ夫ヲイカ成ルトアクニ直

△
ス夕居クル中
清蓮華ヲ
持出是ハイカ
ニト被仰候ヲ

○大勢ノ佛弟子達如何成キヤトアクミ玉フ中ニカセラハ

見フ成ト笑玉フ狀尊則カセウサトリ得シト

何ラ花ヲカセウ譲玉フ残りノ佛弟子達ハイカナル

フミテ譲玉フヤ深理有之ヤトカセウハ問シカセウ

中様河ノ深キフナシ見フナル儘ニ見フ成リト答

別レトナル也亦太刀下手ナレハ直勝入也

釋尊ノ谷ハ無益ノ方心廻シ重ク患フ故テ明不申

也カセラハサトリ得シト見ヘ早速見フ成ト答也

口サニ取テハ直槍イワ仕截役得ハ夫ヲイカ成ルトアクニ直

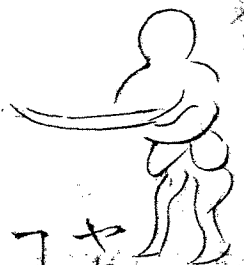
槍ヲタタキ或ハキ合サナトニテマツクニ成サキ也

是ヤハリ新尊ノ清蓮花ト同シ也イカヘラニ直槍持来ル
トモ振廻候内突フハナラヌ也身ニ直槍ノ當ルルヲ留
也皆心ノ修行タラヌ槍斗多キ夫ニテ勝氣心得
違也ハサハ師傳曰ク請一生アイ手ニハナサス心ノ修行
肝要也其心得ナクタタ合フキ合サスレハヨイト心得
師傳モ不聞タタ槍遣フハアヤマリ也誠ニ体合似タ

一 初心ノ時師ノ教ヲヨク守リ勝氣ナクタ身ノ曲
槍ノ曲ハツムカヌ様ニ令習請イットナク覺ヘタイ
ノ直ヲ自然ノ勝負ニ移タキ物也ワカマハノタ
キ合何レモナラヌ卷ノ習イ無卷トメタタ莫
理合同丁也 右ハ遣取ニ命分也 是ハ不記トヨシ

人

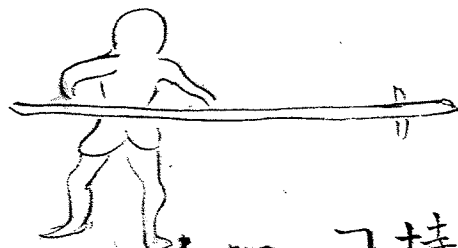
中村流太刀相ノ初ノ也コレヲトキ
ホ太刀ハカスミ取天ケシ
可此通リ出ス也



其自由ハハ雲ヲ起シ雲ノ衆
水ヲ卷世界ヲ潤スフト炎
天ノ難儀タチチ止也スミ
ヤカ成止不及言語変ニ應スル
丁又ニカ也勝負ノ理取所名ハ
龍虎ノイキヲイ変ニ應ス勝
専有成龍ノ形フウニシテ
虎ヲコトモセス意氣ノ位
トセ云ハシテウ勝ヲヤス其勝ヲ
持リヲ知ラセスヲモス自由ナル
フコシ以テノ飛亂ト云

哥

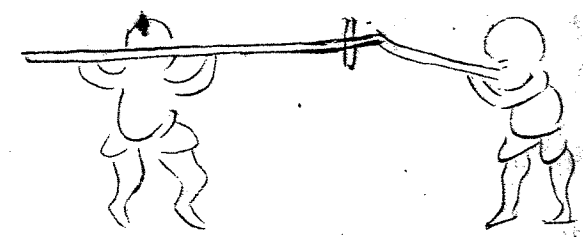
一 遣身ハ下段ヨリ仕掛ケ
ニ足半ノ一羽ニテ紅ヲ付
チリクト中段仕掛ル也
相分ニ目ナク牛角ノ
別ト成ルナリ勝テ
負キニ中段取次ニ
有也跡ハ次ニ記



輕クナク重クハアラシタス
イリクハシ思キトリイリ
龍ハ天ノタタキ自由也
虎ハ地ノタタキ自由也
人ハ天地ノ間ニ在リ
尤中ノ取リ肝要也

打太刀ハ二目ヲ取ニトナリト
太刀ヲエテ儼ナリ

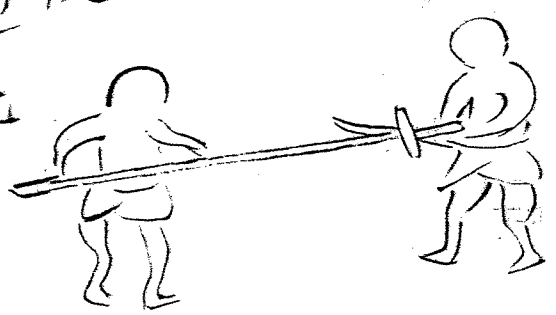
遣身中段ニテ
ナリト闘ナリ
仕裁也 跡ハ次ニ
記



打太刀ハ古流ニハツト云フ
額ノナリ角ノ一ニ取上ニテ
歩出也中村ニテハ角ノ一ハ心得
天ケシノヨリ出スカスノ様ナレハ
是ハ天ケシノ一也其処ニ是半ニ
テ結付出スハ片尺カ子ニテ太
カハニ寸合ス古流ニテ寸合
也其ハ中村ニテハ心得テ間
ヲ延ニ廿但合程ノセメ故打太
カモ太刀ヲカヘスナリコノ処ヲ
カテニスヘシ
中段直ニセソ候ハイカリヲ
造テト云テカ身ヲセツメ仕
奇ルヘシ

一 十文字取手合ハ尺ヲカ延ナリ度ニ
但ニ尺ハ自分ノ長斗ヨリ出ヌル
六尺ノ二尺也

一 打太刀此通りカニ候也
其時



遣身下段
勝付引別也
尤付引至角ノ別也

遣身全間ナクセメ来ル也依テ
テ月相手ニ取ラレス此エトク
勝付サセ至角ノ別ナリ
太刀ハ通りノ早キ物ナレハ由
断セス上ヘシタヘ左右ト扣カ
テテ拳ヲ鎌ミテカキカ
又腕子ナリノ下段ヨリ
ハ子アテ顔ヘ笑也

鹿ノ角突キト云テ角ニテ鹿
ツキ 勝負スルヲアリヨシ
其ツノニセシテ是ハ柳生流ニ
テ遣ハ天ケシノ一ヲツノニ始
取テ出ス也
一文字持ハ石突タケ残
ナリカモ也ニカレ事ニ寄
一尺モ残ルヲ有心得ヘシ

人

一
上段ニキノ太刀構へ居也
其時

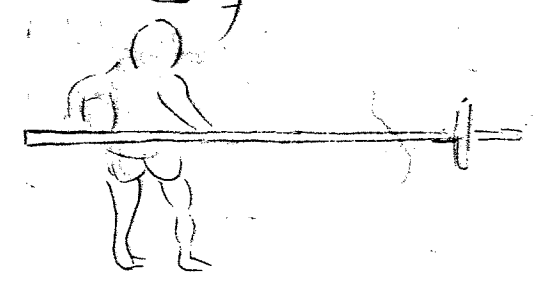


虎乱

タトハ龍虎ノタハカイニシテ
龍ハ形ヲシニシテタイセント
ス龍ハ向ツテ虎ハ形ヲイウシ
テ勢ヲ専ワクミ勝ヲフクミ
テ氣情ヲヒカセテ龍ヲ取
ラント仕裁ル也又千里ノ
竹林ヲモ暫時ノ間ハシリ
自由ヲ得ルコトスミヤカ也
其自由ナシヘシスルヲロシ
付テ候也龍ト虎トイッレヘ
タツル勝有ヘカラス此理ヲ
以テ虎乱ト云

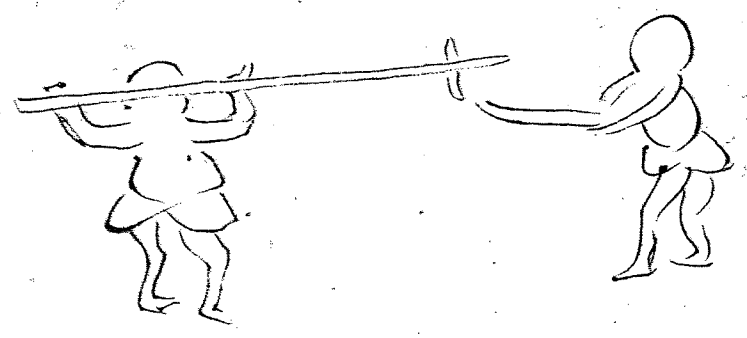
又是加藤肥後守清正ノ咄ニ有

遣身下段ニ
三足仕可也
太刀ルニ跡ハ
次ニ記



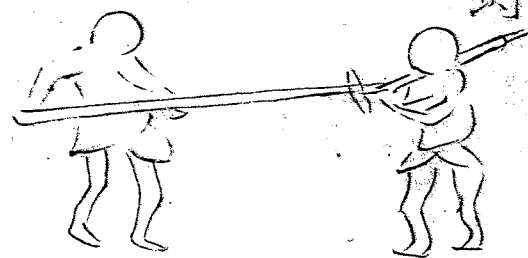
勢
勢ニモ由テ人ナク
勢ニモ由テ人ナク
勢ニモ由テ人ナク

一
安太刀比通り切リ
掛テ其時



遣身中段ニ
此通ハハ
跡ノ次ニ記

歩太刀以通太刀
カニ候六時

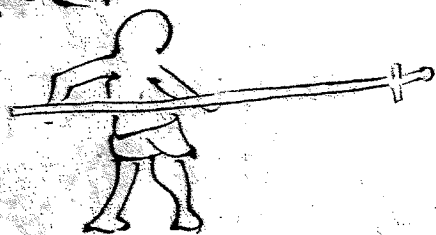


遺身拳へ勝子
引別ル也
平角ノ別レト成ル
右虎ノ納也

一
お太刀脇構
仕寄其時



遺身下段
テ三足仕寄
三足目上段
紅ウ分跡ハ次
記入

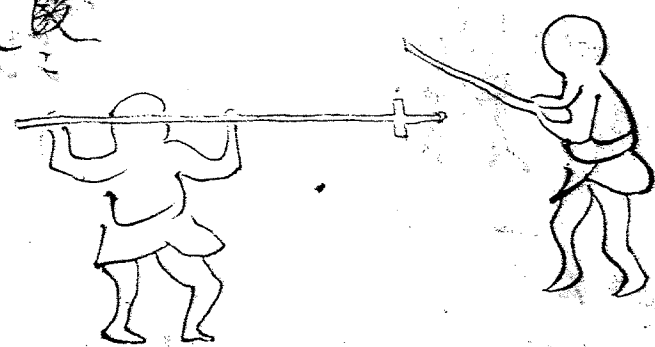


一
後負六光間つり

初
お留

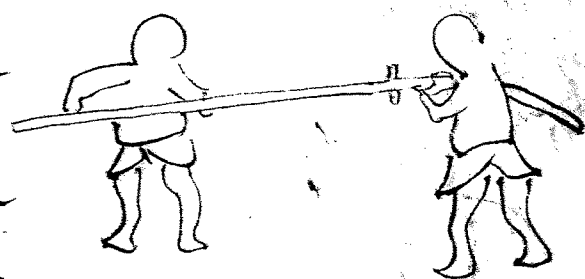
間續リ也又ハ達ノハツシ勝也問ハ
我カ問ラ問トスル也近ク云ハ我問
ヲ知テお留ト云ヘニ問ツモリハ
イツ勝ノイ也是以勝負ノ心
鎗ニカキクス何ニテモスリヤカ成
情真ヲ以先ヲ取勝負ヲスル也
勝負ヲスルト云時ハ業ハ其間
ヲナス也必勝ノ思ヒヲナス
朋カ成也誠ノ勝ヲアラス業
ニシテ勝ハ業ヲ午ニ渡シテ勝也
一問續リハトク間又トカヌ問ラ問ト
斗心得テハ思ヒ問ツモリ大事ナリ
州ノ間ニ天ノ間真ノ間ヲヨク心得
三片天ハ三守組合ニ是ハ勝ノ入ロノ
間也又ヨリ三守組合ニ是ハ勝ノ入ロノ
片又ヨリ三守組合ニ是ハ勝ノ入ロノ
真ノ一尺ノ間成リテ一サニ勝ヘトク
ト師傳ラ問ヘニ
今お留ハ云々

一
赤太刀此通遣
紅付之帛脇掛ハヨリ
拂フ也其時
身上段



遣身此通中段
ハッレ仕掛也其太刀
モ子リクト返スカモ
候跡ハ招ヒ詔ス

赤太刀此通
其時



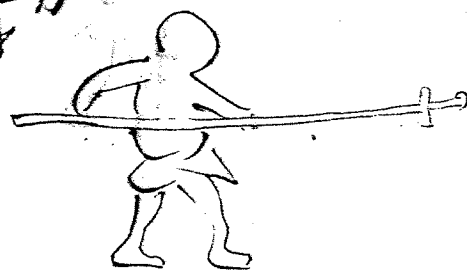
遣身太刀ノ納リ拳ハ
勝負ケル手角ノ別
モ成也
右太刀ノ之本目納ル也

市太刀上段構へ居也
其時

一挙



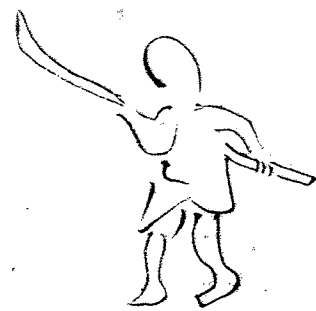
遣身下段ニテ
仕寄ニ足平ニテ
長刀ノフツラミヘ
紅突出スセオ太刀
中段ス市ハ次ニ託ス



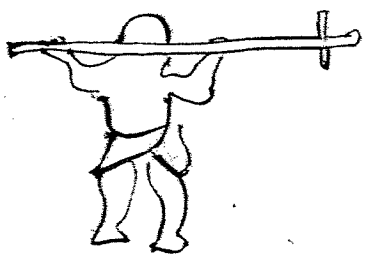
源
おん
おん

ヒトツラ上ト云心也ワツハ業ヲ
其一ツくナレ勝ハ一ツ成心也
一ツアクルトハ業熟ニテウタカ
ヒノ念ナク心スミヤカニ叶イタレ
鏡ニ影ヲ取トク得心ノ業術
ニアラムハ也タトハ其勝負
ハ子カク我清心ヲアラムハ
歌ニラヨホシ心實ヲ見テウタ
カハレテタトヘハクモ云ハレテ
満月ノ雲ナクアラムレシ如ク
業モ心モ歌ノウグキ進退ヲヨク
知テ其塔ヲノカサス勝也
皆是ルイスルノ意ナク

市太刀ナリト
長刀ヲ上テナカラ
十又字ヲ取ラト
念フ也其時



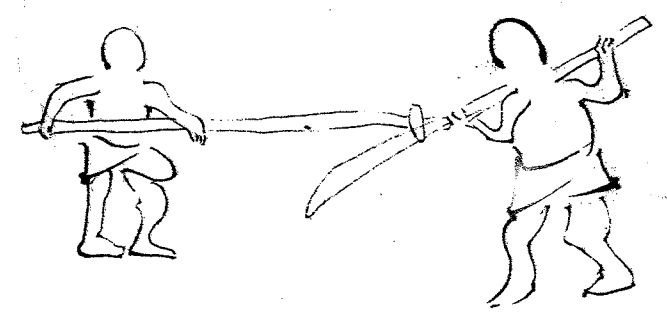
遣身中段ニ
テテリト
仕寄エエ長
刀返シテ勝ヲ
付サス所ハ
次ニ託スナリ



歩太刀此通り長カ
カエス処勝身ル

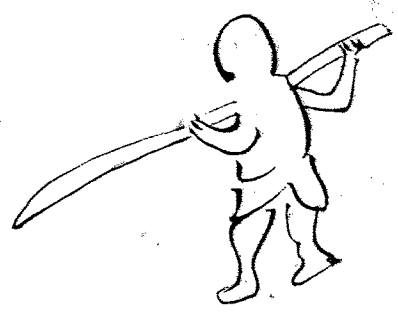
遣身ハ勝
能ク引別
引也付
引ナリ

右ニテ長刀壹本目瀧也

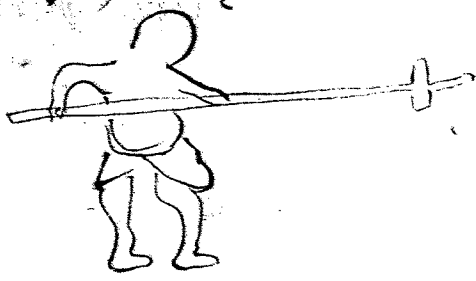


歩太刀 龍流 構候
其時

異曲



遣身下段
テ三足仕裁
ケ三足目ラ
紅付キハリ
ル処ハ記

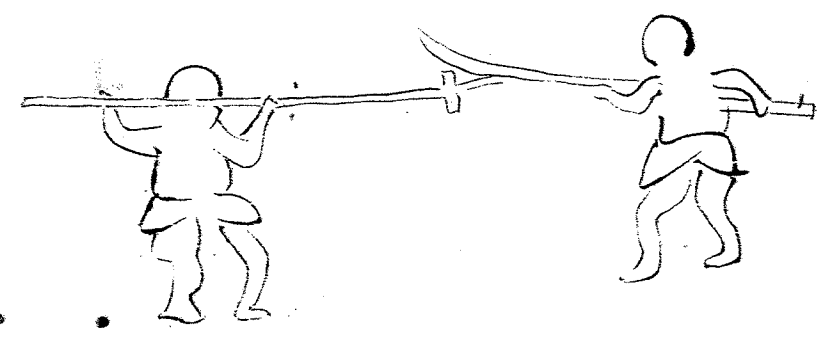


突ハ格歌
あけ長刀引ケハ豫心の位

其業ヲクハツテコトコトク成乾ノ
切ナツテ其ハサヒトツツ切ナツテ
身ノ曲鎗ノ曲ハスレズ至リケル
也則鏡現ナリ但鏡現ノ利
又曰一ツコトナツテ至リケルカ
別身ノ曲鎗ノ曲ノ位ヲ斗歌ノ
氣勢ノ往來ヲ知ツテ業トコラ
ルカトコラサルヲスミヤカミ
テ変化自在ニシテ先ヲモテ
ウタカハス勝也如何様モイロク
ニエスド云レウタカイナク勝ヲ
知ルヲ也

一
方太刀龍流ヨリ此通
十文定上段紅宴
ヲ拂不此通りノ組
ニ成ル其時

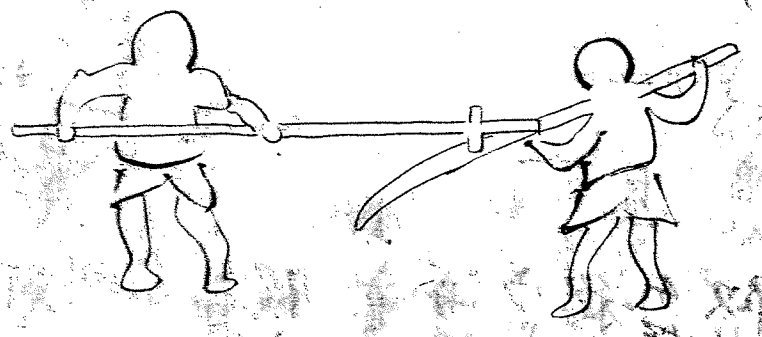
一
遣身中段ニ
ハッレルを此
ハッレカ勝也
長カ此次
カス知
勝付ケル



一
お太刀前ノ通カス時

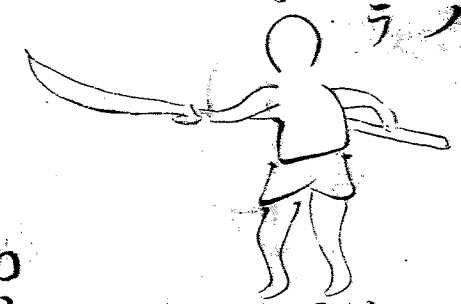
一
遣身此通り
勝ヲ付テ角
ノ別レト成ル
前同ノ也

右ノ長カ二本目溜也

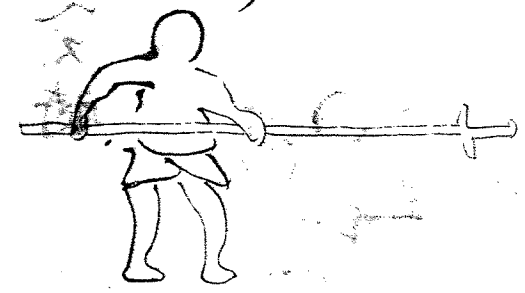


赤肉團

赤太下段長カノ
又ラハ通カヘシナガラ
仕寄ナ文字ラ冠
フラシトスル也其特



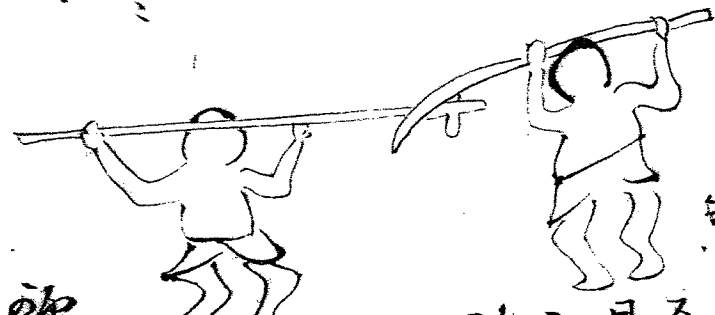
遺身モ下段ニテ
仕寄リ長カ
冠リカス冠ル也
ハ通カヘシナガラ



神是本神ノ本心也清明
俗ニ云々シイ也心是ラツム心
是則業ヲナスノ自由威者ナリ
是ラツム物意也ツムバセトヨム
前云如一蘇ノ本神タツシイト清
明シテ明カ成鏡ニ向フ如シ則清
神也包心ト云物眼ニ見耳
聞鼻ニ知リ業ニ云後有テモ
腸ニ出ルモ知心自由自在成心也
○意ト云ハ善惡へ移リ安キ物ナリ
倣此意モ同業ラ知段ニ移リ
ウツルハア子心ハセヨリ心
移リ心ヨリ本神ニ移ルナリ
ケ様ニ書キテハ移リテ段々アルミ
似タリトイヘ凡在ミアス元指
勝ノハツスル處則神ヨリ起ル
分テ云ハ如右一ツミテ心モ意
モ本神ニ移タカウ也口クレハミツ

赤太冠ル也

遺身モ此通り
冠リカヘシナリ
又長カ切入り也
前エヌケナガラ
カス勝付ル也
赤角別ル也

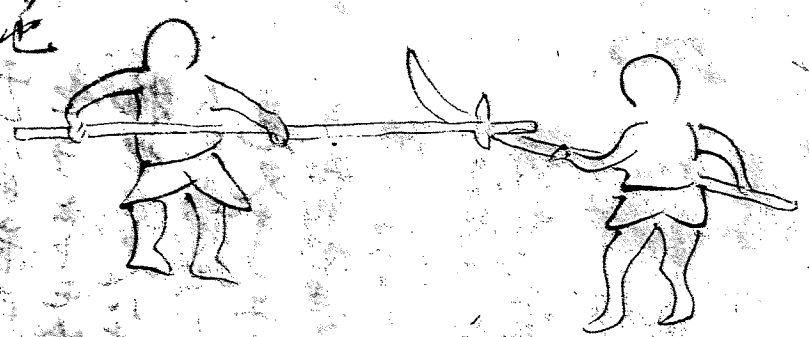


叔ハ一ツ也想身ハ遠カカリタル本神
ナハ也赤肉團ハ身ノ内一心ノ居ル
色ヲ云トモ省意ハ善惡へ移身
物也タトヘ清ノ發スル清ラニツカ
スモ意セガナス也心ハ見ハ渡
見又キツルラ聞キカ事ニ移ル物
ヲ知ル也是ハ知ル斗也誠ノ勝ト云ハ
神ヲ以ラス神ト云物ハノ魂其本
心也此本心ヨリ業ラツフススル
勝モ此本神ヨリ發ル也此本神
ヲサシテ本神トモ新トモ云ヘシ
此神意心ノニツラシタガヘ居ル故
自由ラスル也

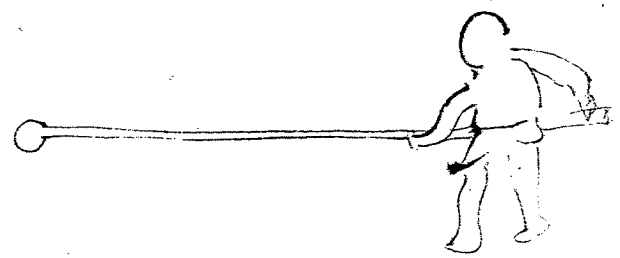
△名法ハ心の上もどるれ
下もどるれ
太奇の心はるスベシ勝ト云フニ持考ツケ又
用んす一まけハ物也

一 太刀切込処ヲ

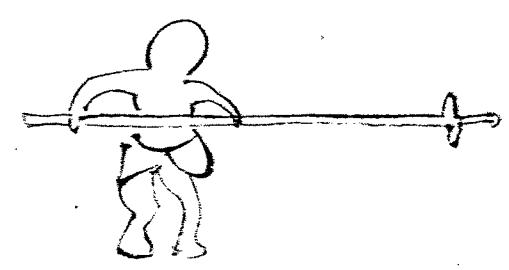
遺身此通り
勝ヲ付
別也
六者七刀三本目終り也



一 太刀下段仕掛深ク
突込ス也



遺身下段直槍深キ故
一足前足ヲ踏ハテ冠リ
先取返スナリ跡ハ
次ニ記

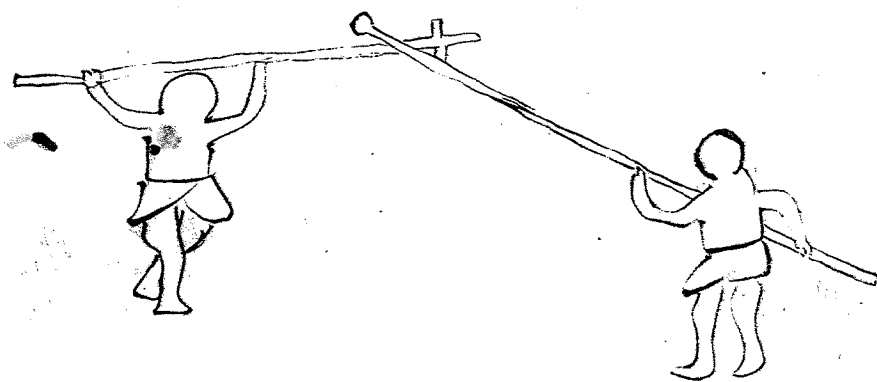


倒用シタラシ利也款キヒ
強キヲハ和テ勝有リ
一ツナシテ勝ヲ持テ持ツ
内ニ進ミ進ム中ノ富内
勝也此心ヲ和テ知ツセツ
ヲ勝也キヒサハ和テ勝也
和ラクルハ業也和ラクル内ニ
氣情ヲハエスヘカラスキヒ
ヲハ和ラカシ當シハカヌル也
款ノカラヌイテ仕掛ル也何
ニモ上様ニ成ル也カラヌカシ
モトムルニアラス明ニ覺ナキ
内ニキヒシヲ仕掛テ実物ヲ
一ト足クツロケテ先ヲ取返シ
テ引色ヲヒシノ倒ミ勝也
倒用ルハ何レノ槍ニテモ
有リ

御書に記さるる事多し
て此より進歩あるを望む

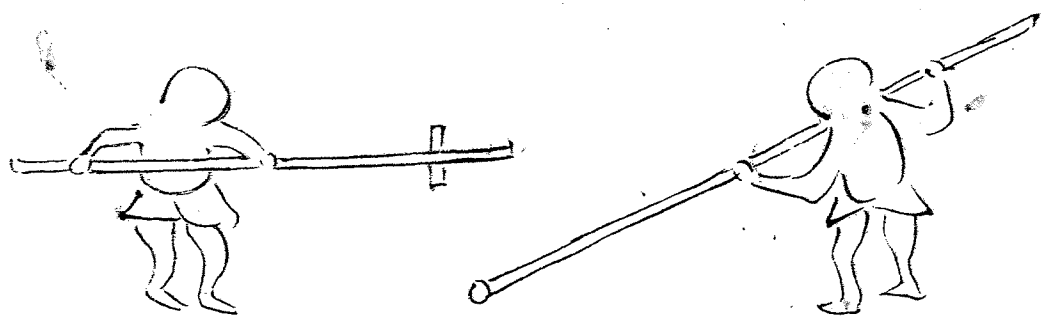
一
此通太刀突也

遺身直様深ク先シ
取ラレシ故前足跡ハ
先シラ取返シ冠見也
跡ハ次ニ記



亦太刀別処一

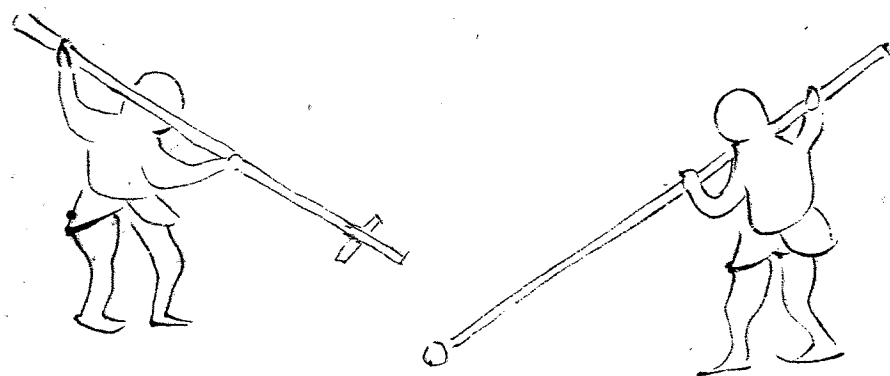
遺身ハ下段ニノリ
此通ニ成次ハ跡
記ス也



一
お太刀跡を引
廻へ

遣身アイザリト
語ル也跡ハ次ニ記

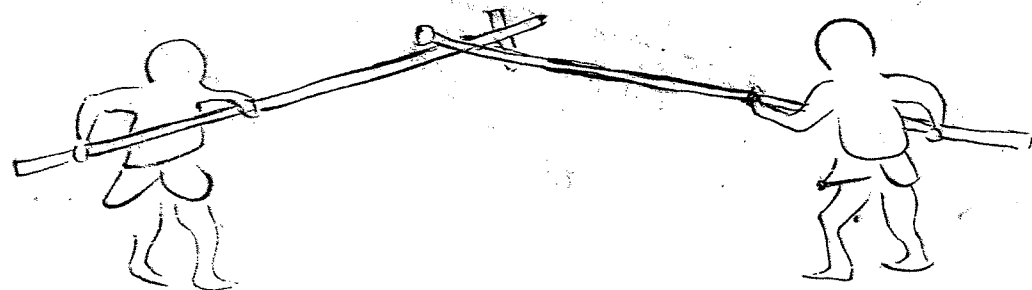
お太刀跡を引



一
お太刀遣身面
突入廻テ

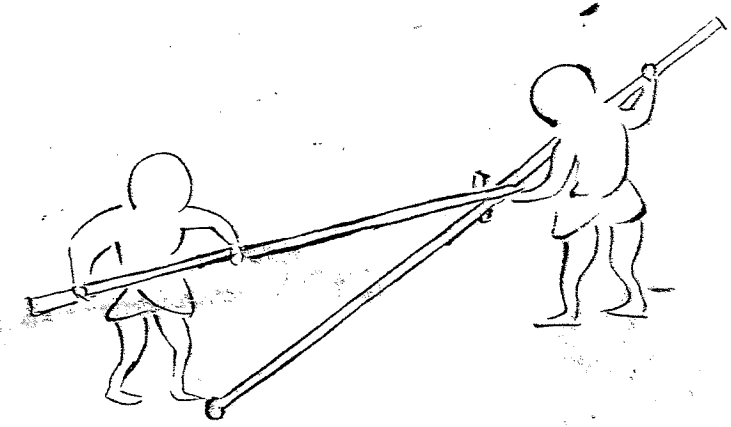
お太刀遣身面

遣身上段直ニ
十カラホツ也跡
ハ次ニ記ス也

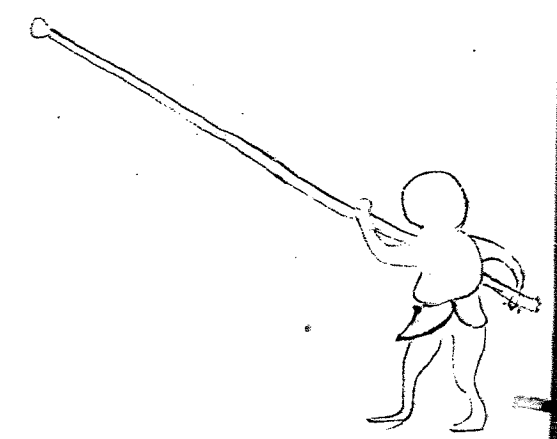


一
お太刀此通
引廻

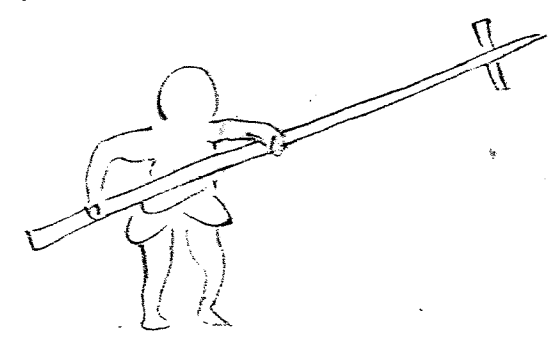
遣身下段
勝ヲ有平角ノ
別レト成也
是ニテ捨相ノ初テ汝



一
お太刀上段ニテ仕掛
直捨ハ十字字ヨリ
上段高ク処仕掛也

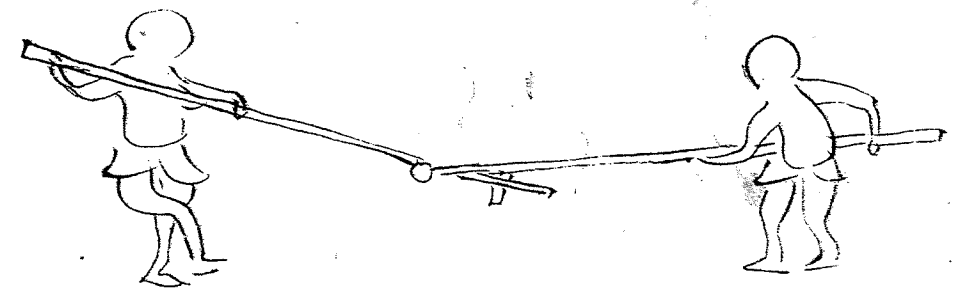


遣身七上段
十字字ハ直捨
ヨリ低ク構へ
テリハト詰ル也
跡ハ次ニ記ス



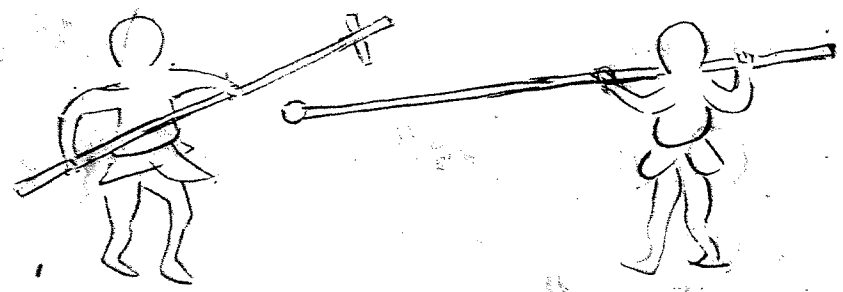
一
お太刀口段より下段
シロスルヲ遣身

直捨シテ文字ニテ下
ヲリスクイヒ也
直捨ハッシ実ニト
スル処ヲ十文字
後ニ切リ捨テ
付録ハ次ニ記



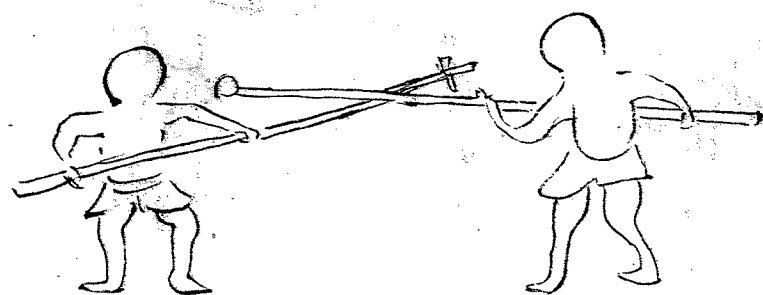
お太刀口後
切テ捨テリ

遣身ハ後口へ
切ッテ捨テハ
上段此如クニ
成ル也
記スナリ

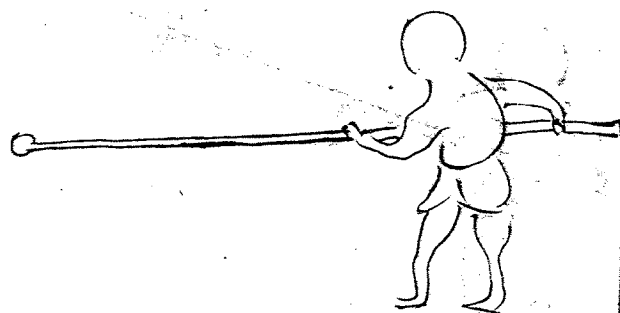


一
 歩太刀此通り
 勝々付サセ引
 別ル也

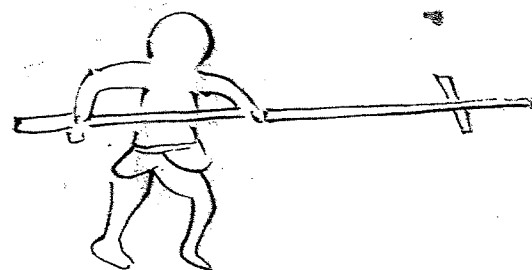
遣身七勝々付
 引別ル、付引
 心得有ヘシ
 右ニテ切ッテ捨テ別ル也



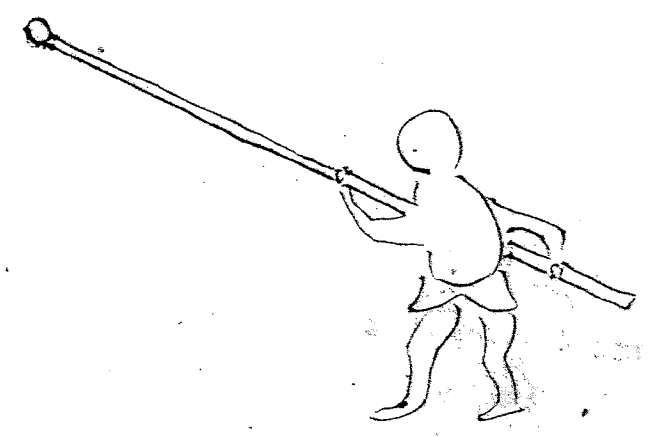
一
 歩太刀下段ニテ
 仕掛也遣身
 槍夫シメル時直
 槍遣身ノ面テ
 突也



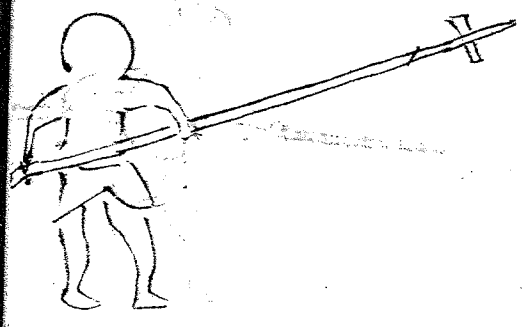
遣身モ下段
 水月ニ取双方
 予仕寄遣身
 槍夫少シナル
 直槍面へ突ハ時
 子止冠リ習イ
 ノ通り躰ハ次ニ
 記ス也



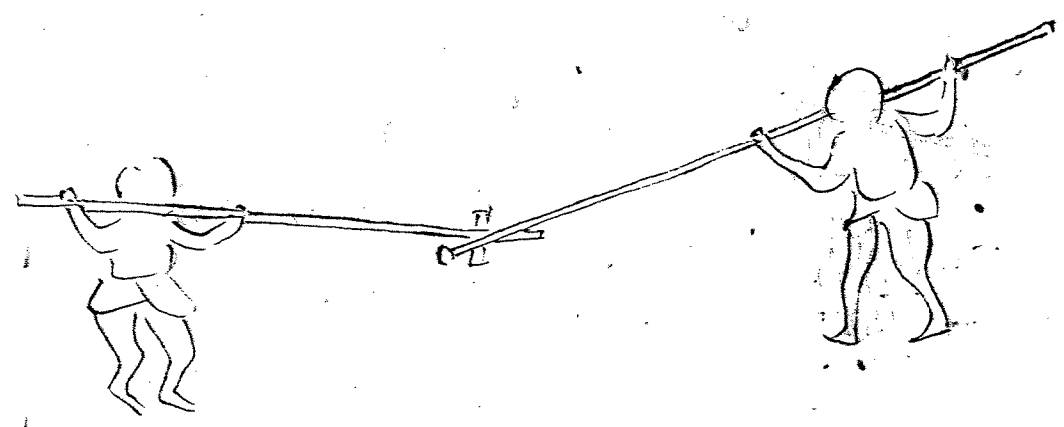
お太刀ハ子上ケラレ
候時此通り直
槍構へ成



遣身ハ子上冠候
時ハ少身ヲヒツ
冠ハ此候ニテ語
跡ハ次ニ記ス也



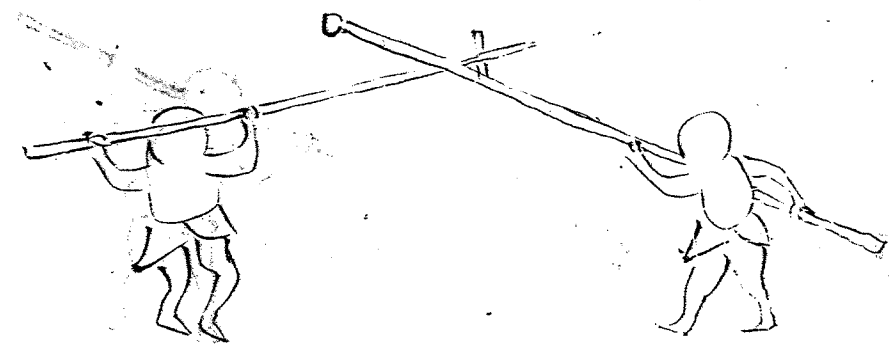
お太刀ハ後口ヨリ
面下脇壺ヲ
突セ下ノ前へ
越候也



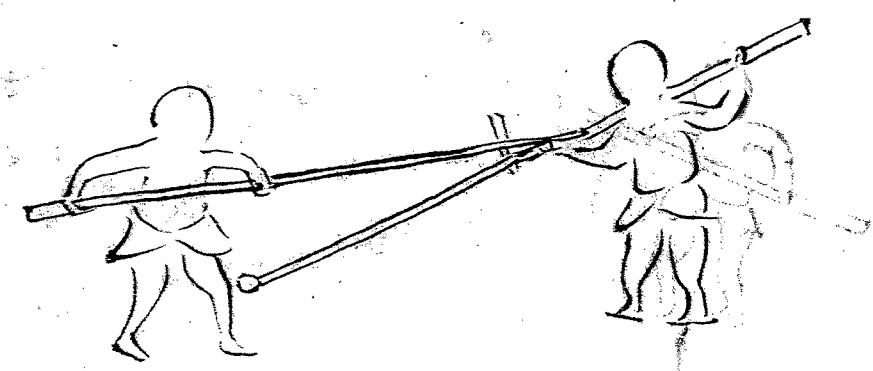
遣身後只お太刀
突出筆力ニ故
前へ道槍越候ヲ
片尺此通合スル
跡ハ次ニ記ス也

一
直槍、此通後、越突
出ス如ク、太刀ハ引
ク也

遣身所へ
又テ冠リト
ナル也、遣身
ホ太刀ノ引
色へノリカ
ス、踏ハツキニ記ス



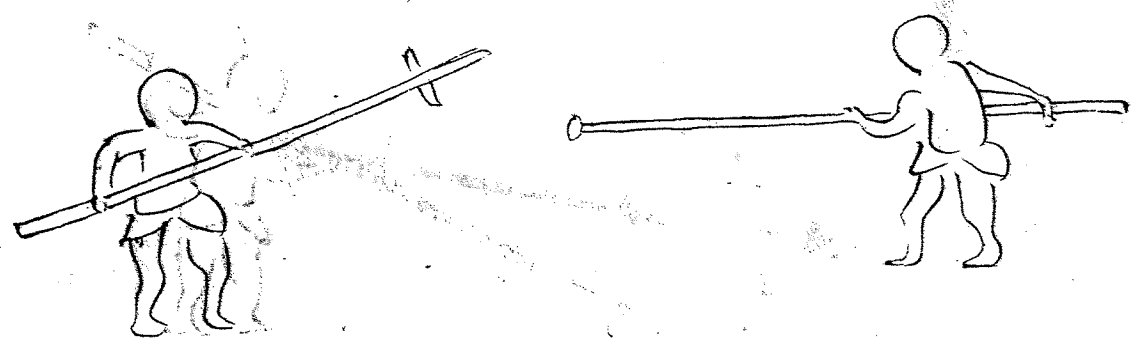
一
ホ太刀此通り
カヘシ勝付サ
セテ引別ル
也



遣身引色へ
ノリ此通返シ
勝負、角ニ
別ル也
右五箇ノ始、洩ムナリ

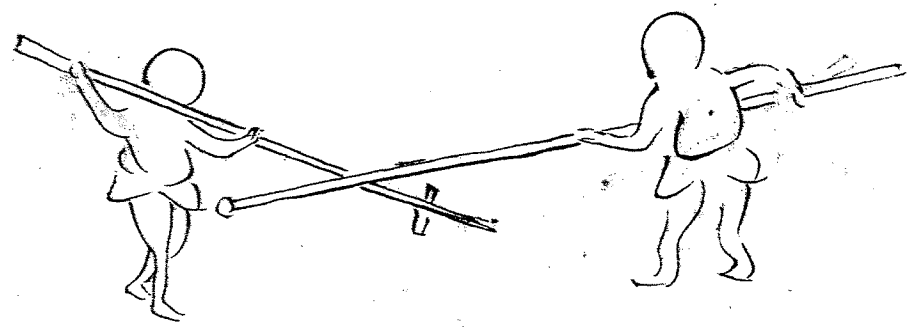
一
歩太刀上段
搦へ仕掛
壺ヲ念イ深
夕突入也

一
遺身上段
構へ先足ヲ
少進メ脇
壺明ナキ
ト笛メ合居也
跡ハ決ミシルナリ



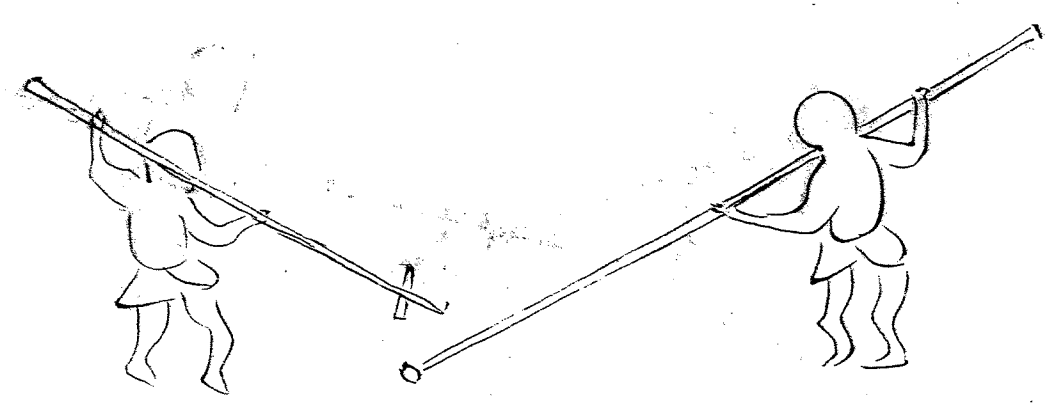
一
歩太刀下段ヨリ
キヒシク脇壺
へ突入也

一
遺身少先
ヲクシテ後先
足跡へ少引テ
先ニ取カヘシ
太刀ノ引色へ
ハ次ニシラス



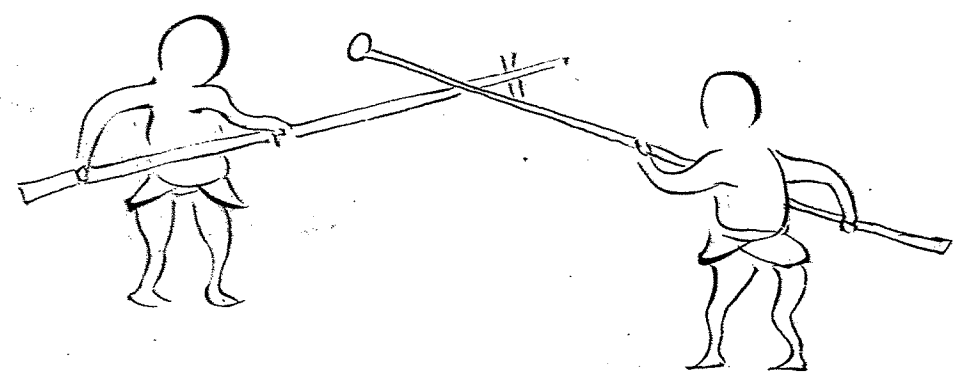
一
オ太二此通
跡へノ引ク
ナリ

遺身合イノ
俣キリト
テ語入跡次
ナシルス



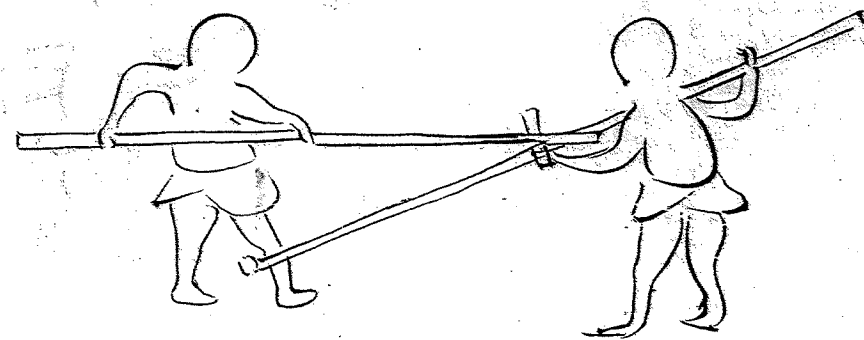
一
オ太カ畝ノ面へ
突出ス也其時

遺身止段
十文字直シ
十カラ直槍
ヲ切テ捨テ
ナリ跡ハ次
シルス

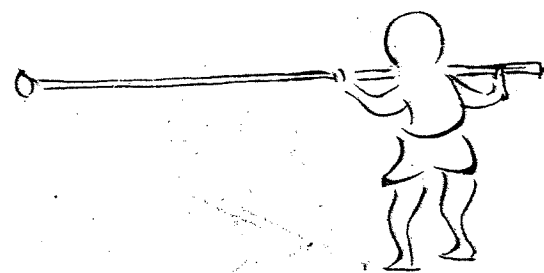


一
 太刀下文字
 引別ル也
 其時

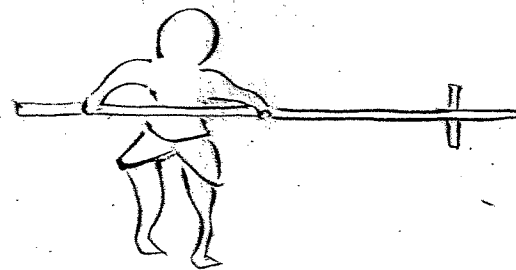
遺身下段
 此通勝負
 引別ル也
 右ニ引相済也



一
 スリ込
 太刀中段
 構へ居ル也
 其時

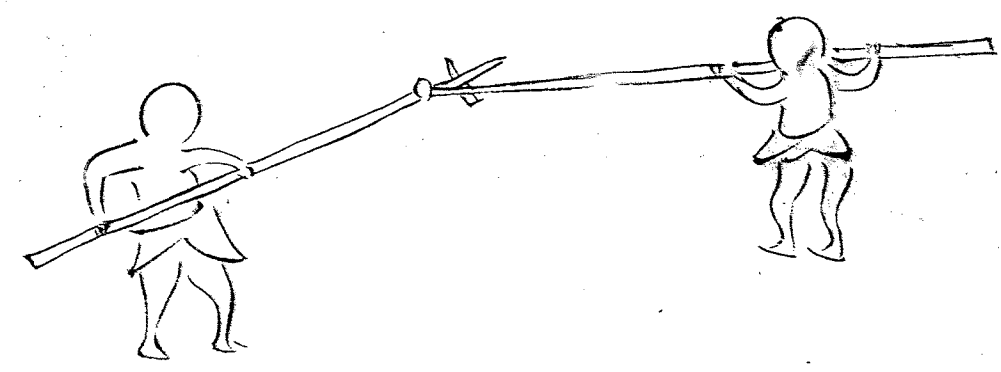


遺身下段
 三尺仕掛ケル也
 跡ハ次ニ託スナリ



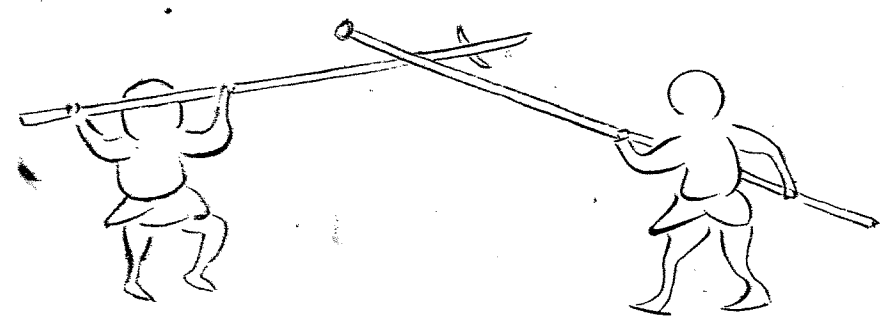
一
歩太刀下段
ノ処へ

遺身下段ヨリ
三足目ニ此通り
十文字へオスリ
入路ハ此次記



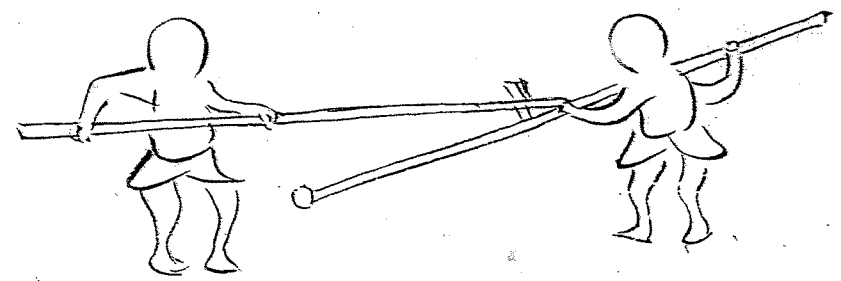
一
ホ太刀ハ十文字鎌スリ込
候処ヲ押返シ突也

遺身
押込突
処ヲ冠リ
込路ハ次ス



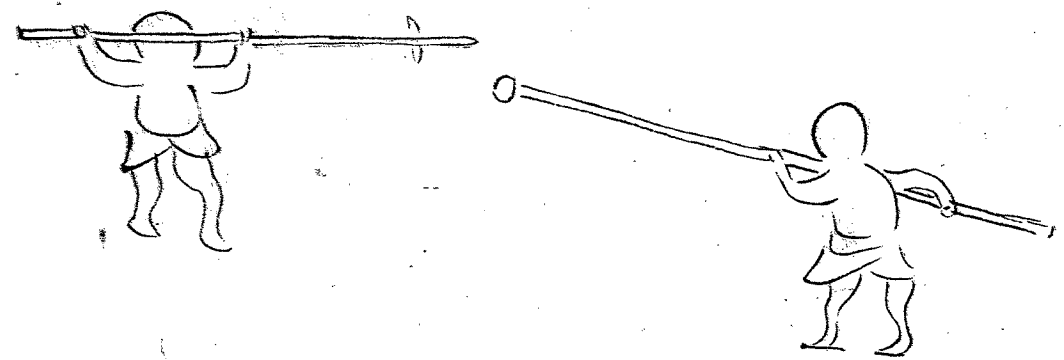
一 歩太刀返ス処へ

遺身勝込
平角ノ別
トナル
石スリ込ノ納也



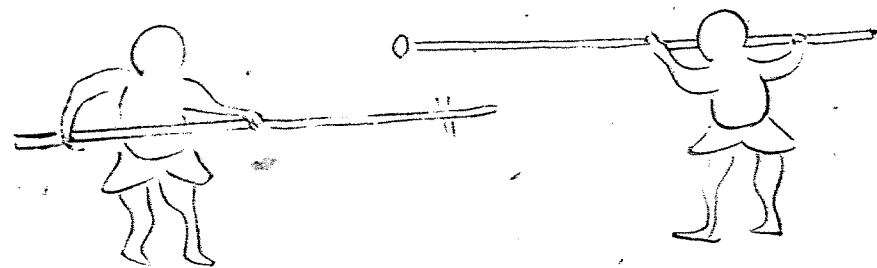
一
歩太刀ハ尻手下リ
中段ニ構ヘ居也
直槍ハ十字字ノ
歩ヲ拭キ候時チシ
返ハッレ遺身ノ
面ハ突ク也

遺身ハ中段
最上直槍へ
下段ニお掛ル
跡ハ次ニス



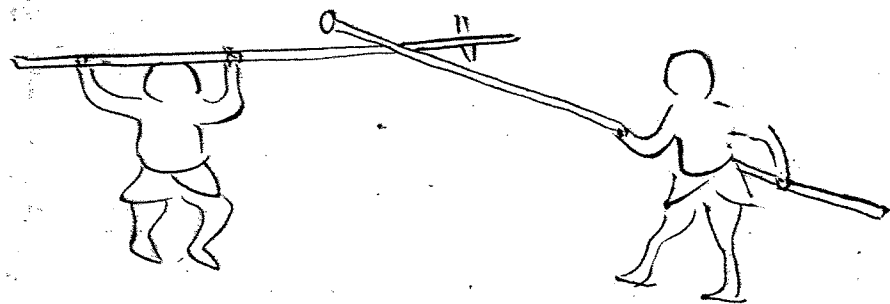
一
歩太刀下段 鎧矢マテ
此通ハツス

遺身下段
歩掛ケル跡ハ
次ニ記



一
歩太刀中段 ツレ候
シキヲカシ此通リ
突也其時

遺身冠也
此後先語ル
跡ハ次ニ記ス

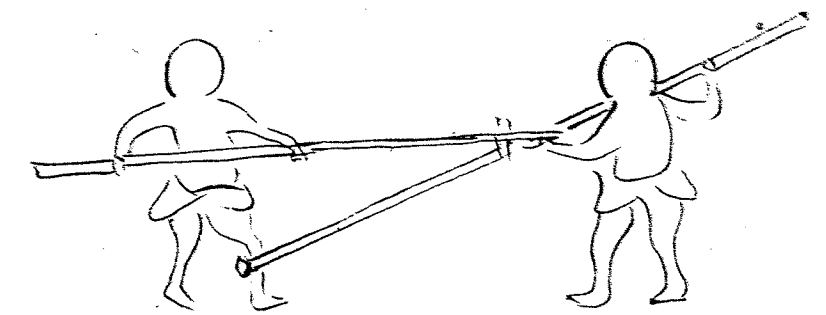
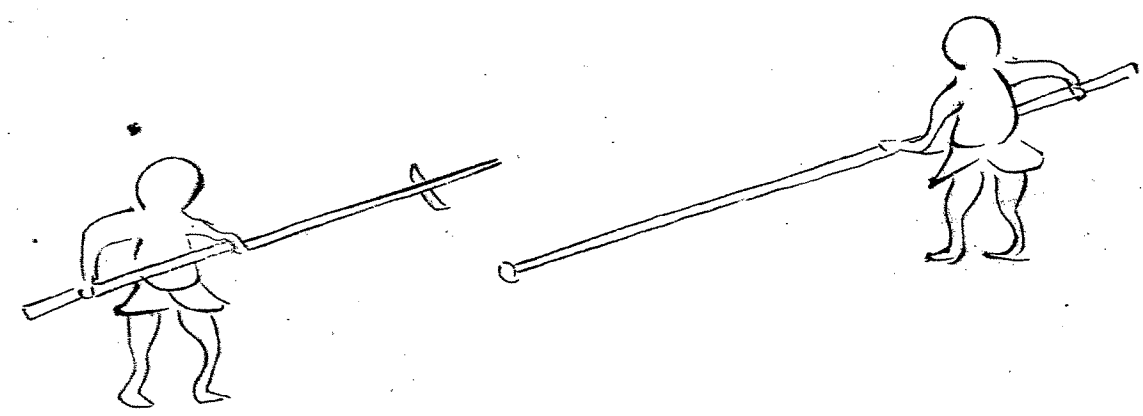


一
右太刀此通込込
前ニ同シ

遣身勝付込込
前ニ同シ也
右ハ右口テノ物也

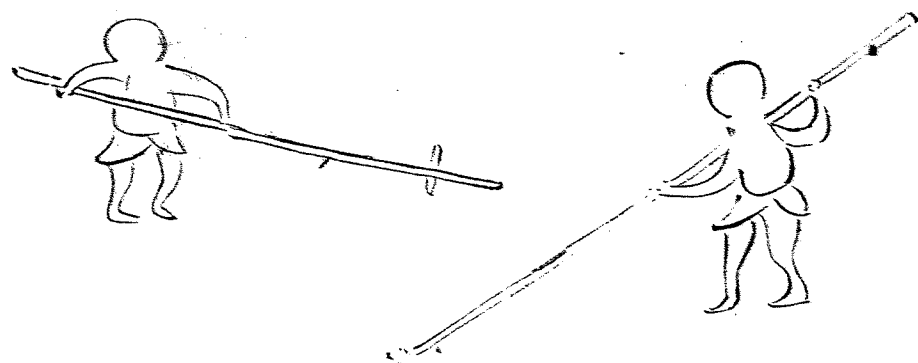
立箇ノ初メ
一
右太刀左開キノ
下段ニ攝ル也

遣身止段ニテ
前足ナリト進ム
処ヲ右太刀左開キ
ヨリ拂フ也跡次ニ
シルスナリ



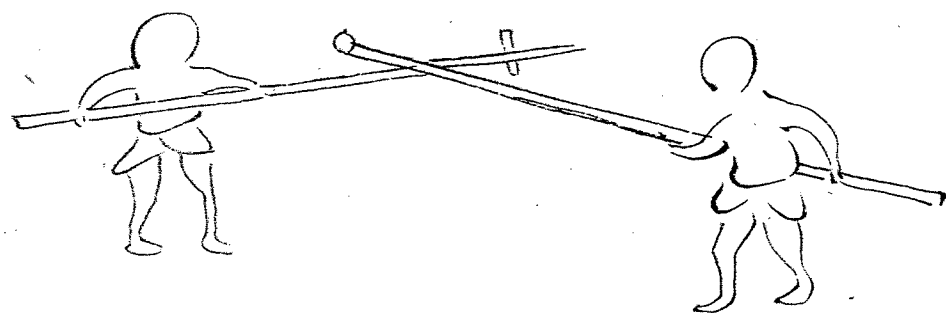
一
歩太カ此通り
右開キヨリ左へ
掛フ也

遣身チ太カ掛フ
処ヲ下ニサケチカ
ハツレ合イニ成也合
イニテ仕掛註記
ハ次ニシルス



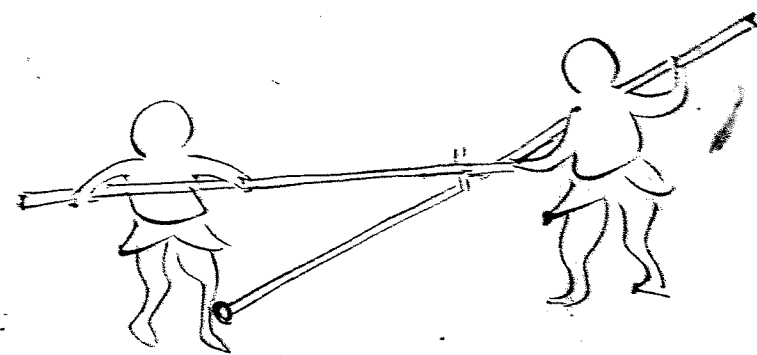
一
歩太カ右ヨリ左へ
掛ヒテ後チ遣身
ノ面ニ突也此通り成

遣身面突キ
来ル処ヲ上段ニ
直シテカヲ太カ
ノ面ニカケテ切テ
捨テ勝付ル処
ハ次ニシルス

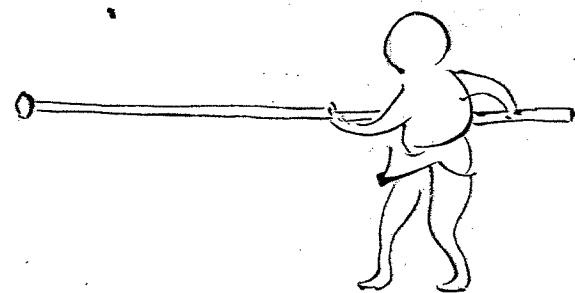


一
歩太刀返ス処
前ニ目シ

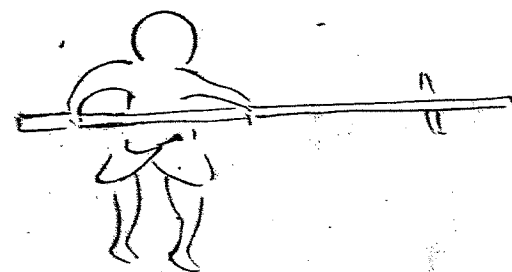
遣身勝付ル処
前ニ同シナリ
右五箇遣方河ム也



一
十箇ノ始ソ
歩太刀下段ニ
仕掛ル也

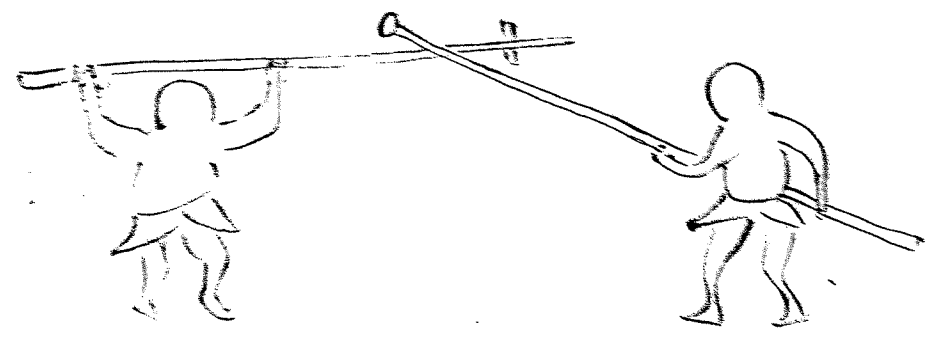


遣身下段ニテ
水月ノ位也跡ハ
次ニシルス



一
歩太刀、還身ノ
面一突也

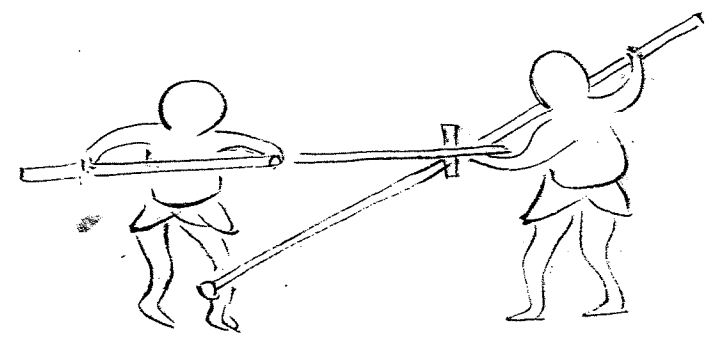
還身ノ段ニ
取、ワ、ニ、社
成也、跡
八次記



一
歩太刀、還身ノ
面一突也

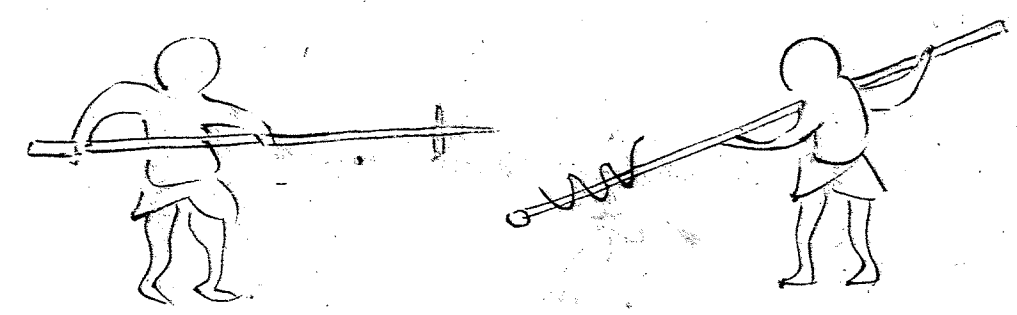
還身ノ前ノ
通勝付引
別、也

十ヶ始、滴、也



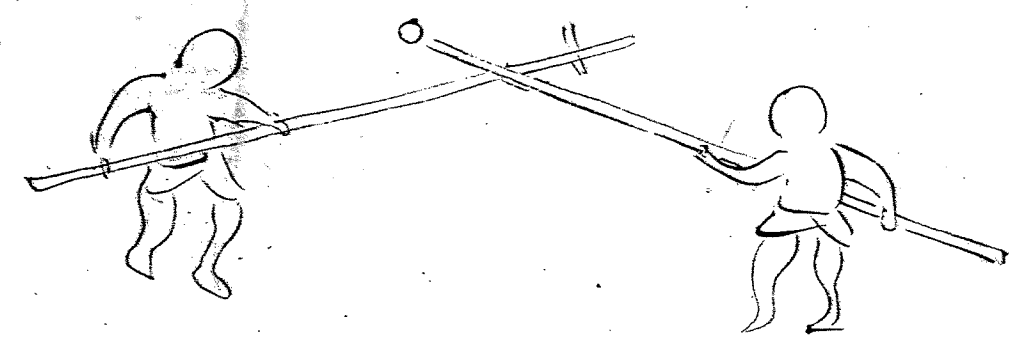
一
フル鑓、始メ
歩太刀此通リ
十カラ仕掛ル也

遺身下段ニ
テ此方モフル
心持ニテ留メテ
カラ仕懸ル也
跡ハ次ニシラス



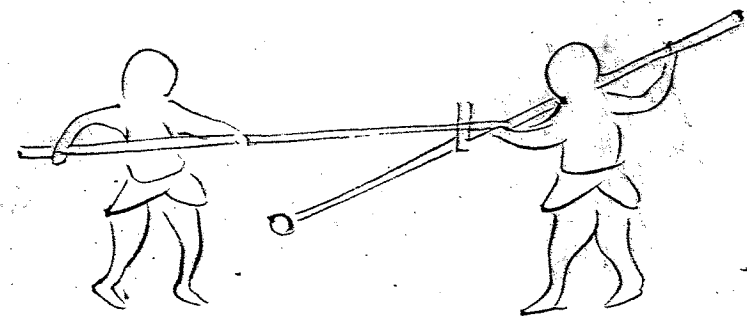
一
歩太刀ワリナカラ
面ハ突カケル

遺身ハ突ク
処ヲ上段上
槍ニ歩太刀ノ
面ハ掛ケ切
テ捨テ勝テ
入跡ハ次ニシラス

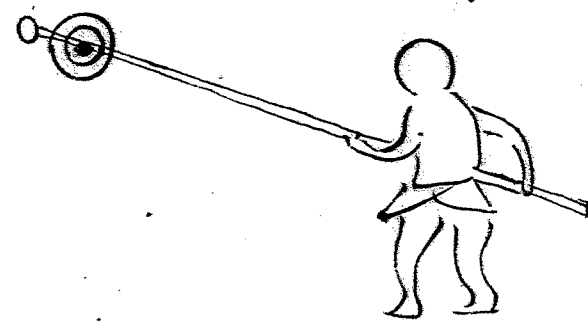


一 歩太刀此通引処へ

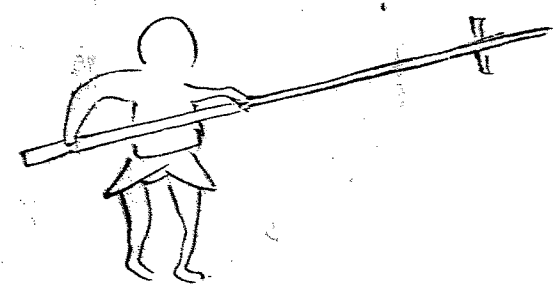
遣身上槍ニ
勝付引別ル
右ニテフル鐘綱ノ感也



一 廻ス鐘始メ
お太刀右廻シニ
廻シチカラ仕掛ル



遣身上段ニ
笛ナカラウ真中へ
付入直槍廻シ切
脇ニ壺へ突ナリ
歸ハ次ニ記ス也



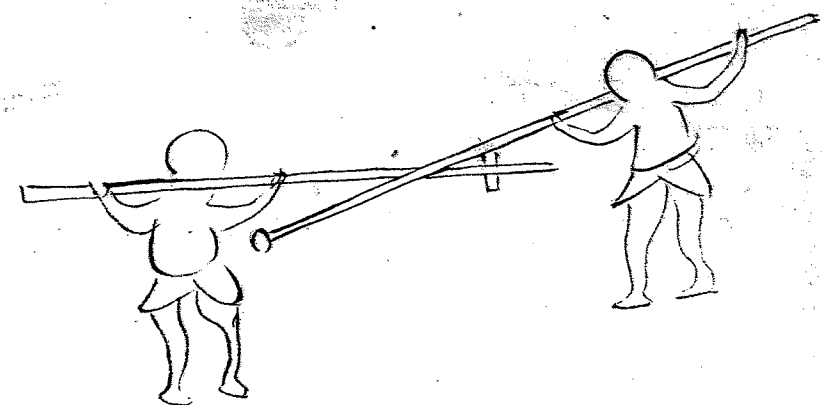
一

打太刀突処ヲ

遣身此通り

相ノ込ム也

右ニ廻リ又鑑納也

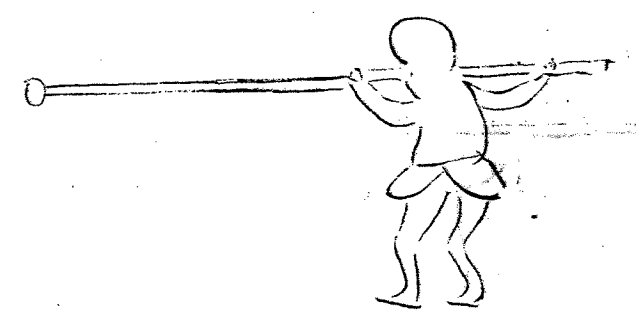


一

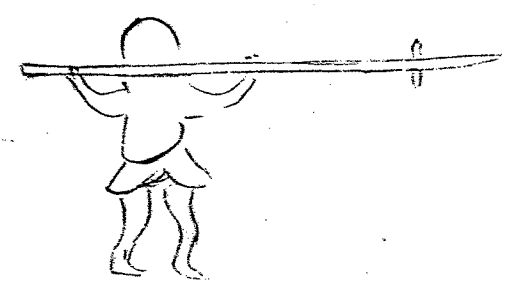
相位始

歩太刀中段

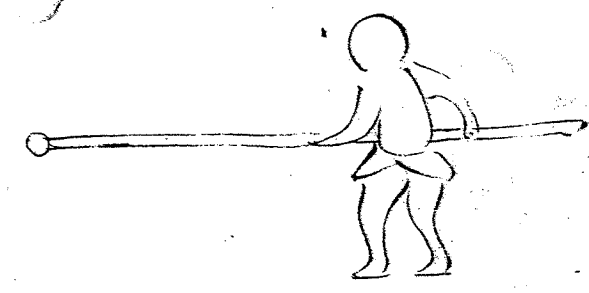
取上ル



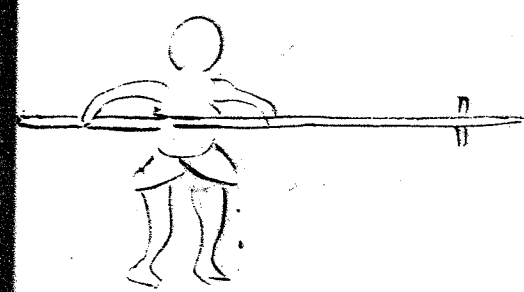
遣身中段ニ
取上ルハ次ニ
記ス也



一
お太刀下段
ヲロス也

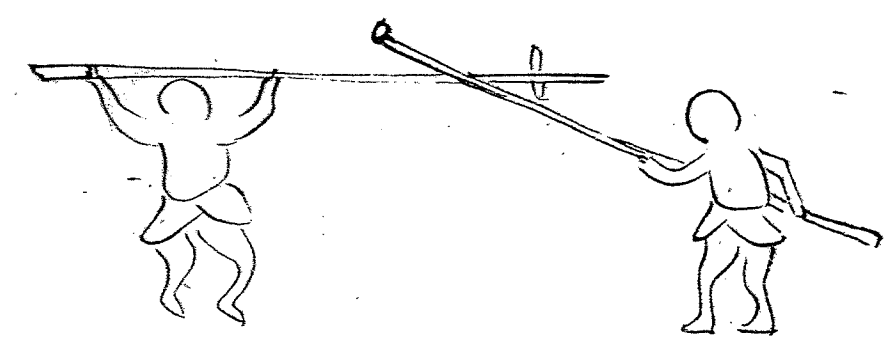


遺身モ下段同
シニシロス水月
也跡次ニ記



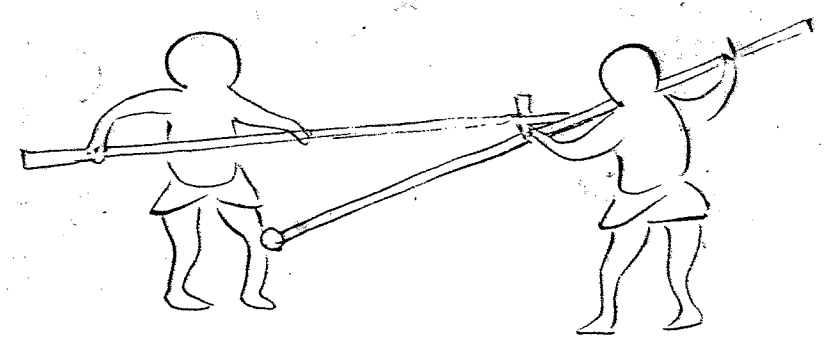
一
お太刀下段ヨリ
面へ突時

遺身前へ
フケ此通
冠ル也跡
次ニシロス



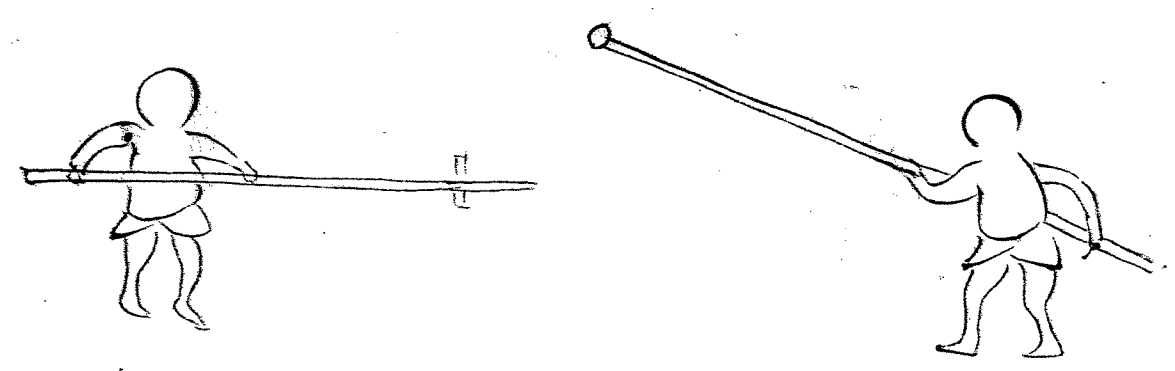
一
お太刀別
同シ下也
ルハ

遺身ヲ勝ナハ
イッモ同シ下也
右テ相位納メ也



一
ツケ込ニ始
キ太刀上段也

遺身下段ニテ
三足目直捨突
上ハ跡ノ記也

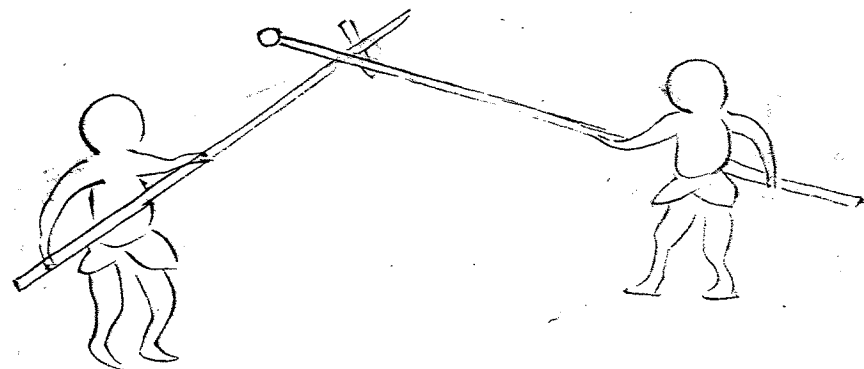


4

1

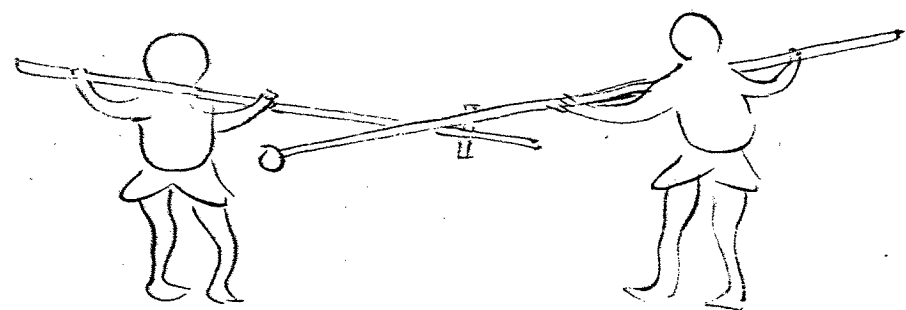
一
お太刀止段
仕掛

遺身此通直
ヲ録ニテリ
ツキル也直槍ハ
上ル也ヲ引取脇
突也跡後ニル



一
お太刀突時

遺身此通リ
アイル也是
テ引別ル也
ツケ込漏也



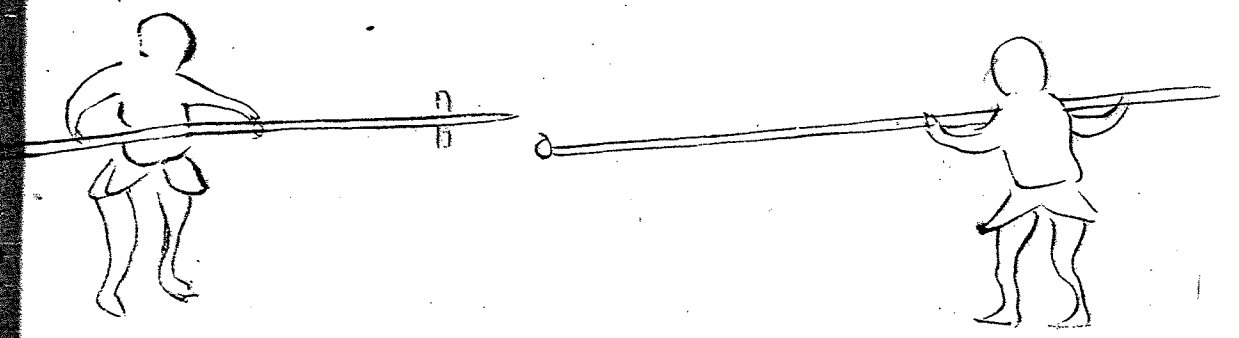
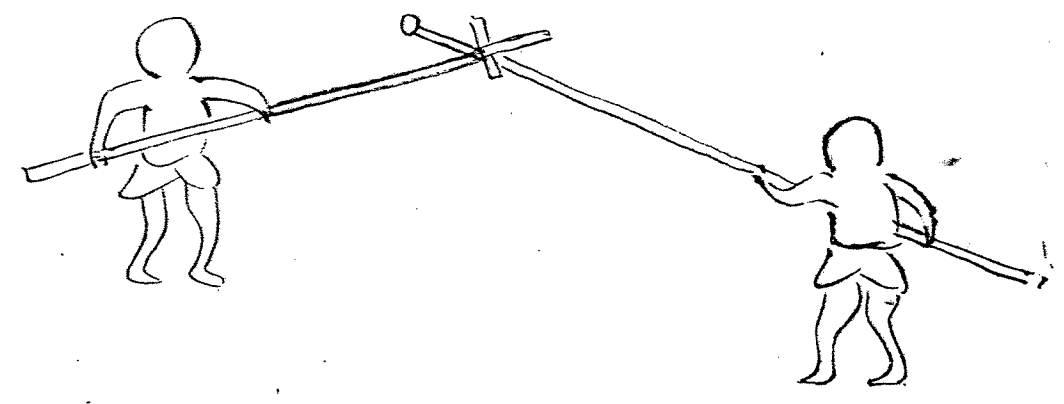
一
引捨ノ始メ

赤太刀ノ尻手ノ上ノリノ
下段通へ仕掛ル

遺身七下段ニテ
一足進ム処ヲ直
槍ヨリ截ケ止ルハ
斷ハ次ニルス

一
赤太刀此通り截ル
ナリ

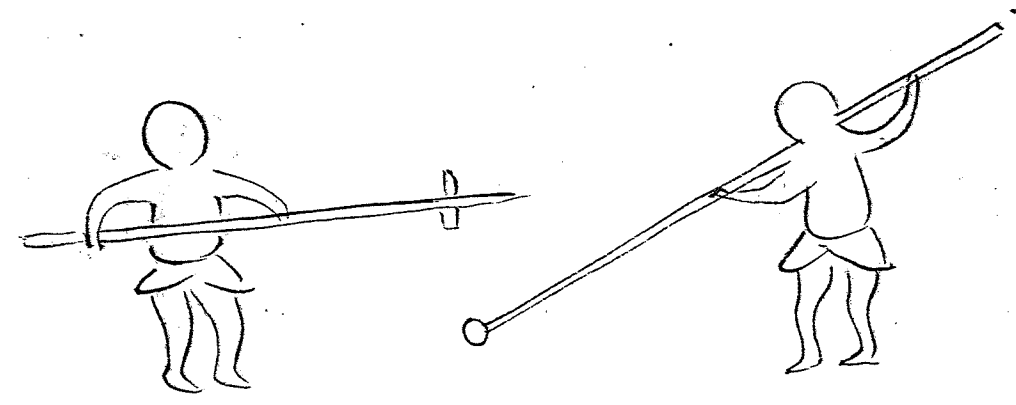
遺身トケサセ
スリ込処ヲ別
捨テ入跡ハ
次ニ記ス



Handwritten marks or characters at the bottom of the page, possibly indicating a signature or additional notes.

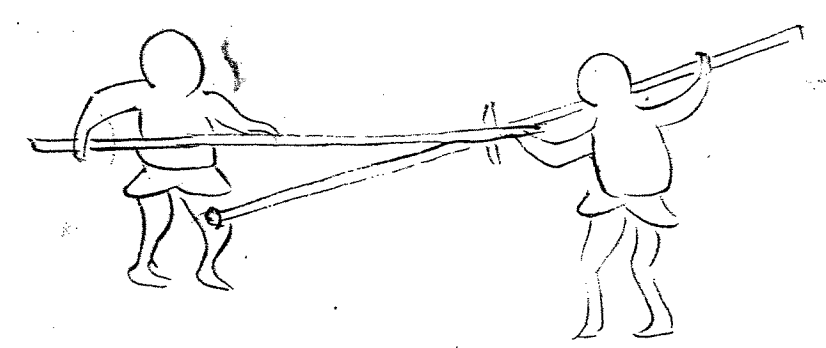
一
歩太刀此通り
捨タリ

遣身引捨テ
勝テ跡ニ付ル
ナリ



一
歩太刀此通り
勝付サセテ
居ル也

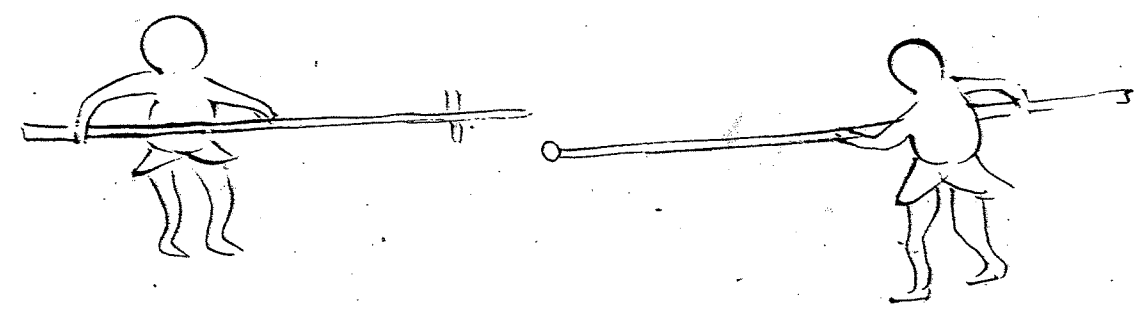
遣身勝付テ
引別ル也
引捨テ納ル也



スケ身始メ

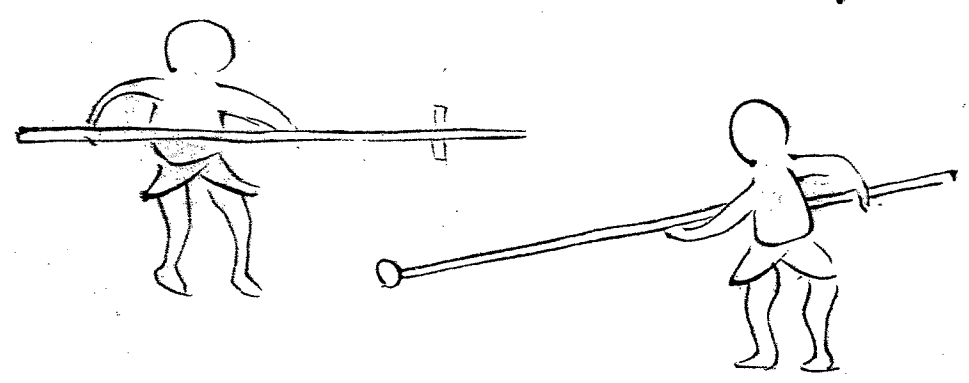
赤太刀中段ノ
少シ丸ノ
ウキ

遺身下段ニテ
三足目ニ紅ヲ付ケ
赤太刀少シ跡ヘク
ツロケナカラナ
文字ヲ拂フ也
其処ハ次ミル



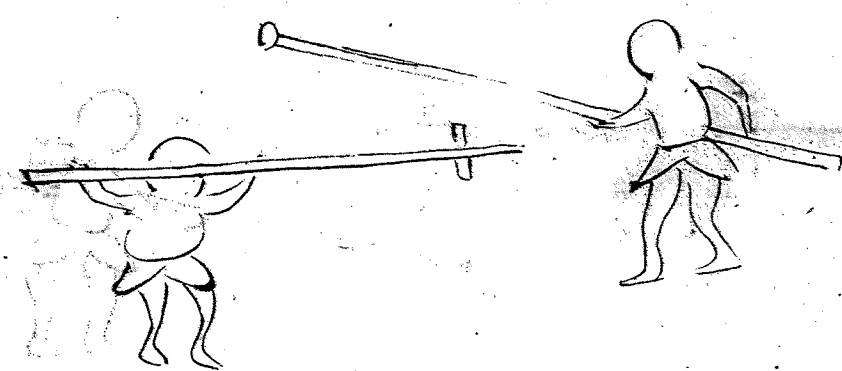
赤太刀跡ヘサシ
リツロケル也

遺身三足目ニ
子ノ下段ニ突
キ太刀右ノ
其処ハ一記



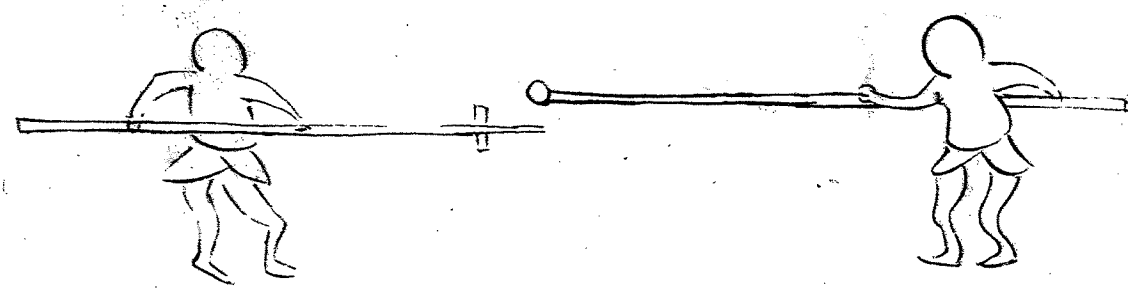
一
赤太刀石へ掛フ
処ヲ

遺身前へ歩
ミヌケ中段ハ
ツレル也此後
ミナ引別也
右ミテヌケ身海也



○ギヤッ付始メ
一
相下段也

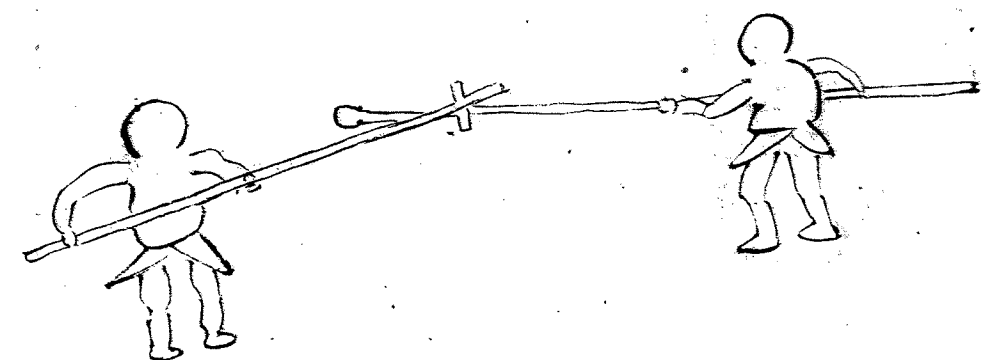
遺身下段ニテ
直槍へ片尺ニ
ノル也ノル処ハ
次へシルス



一

赤太刀下段へ

遣身下段ニテ
三足目此通り
十文字ノル相
鐘ノカヲ直槍
ハ十文字ニ添
突
出ス也跡ハ次ニ記

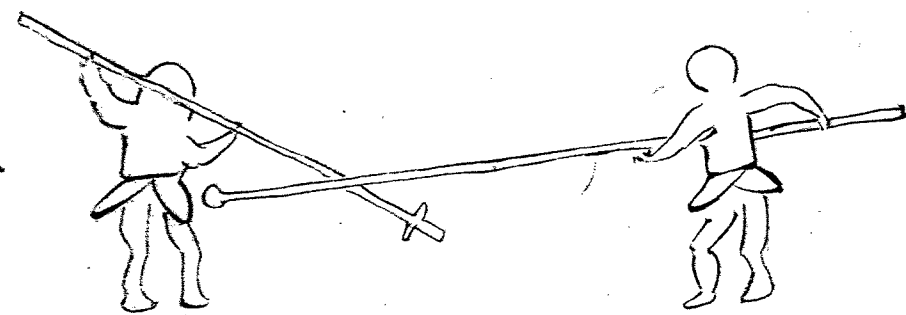


一

赤太刀スリ付
突処ヲ

遣身此通り
アノ込ツテ
要角ノ別
ナリ

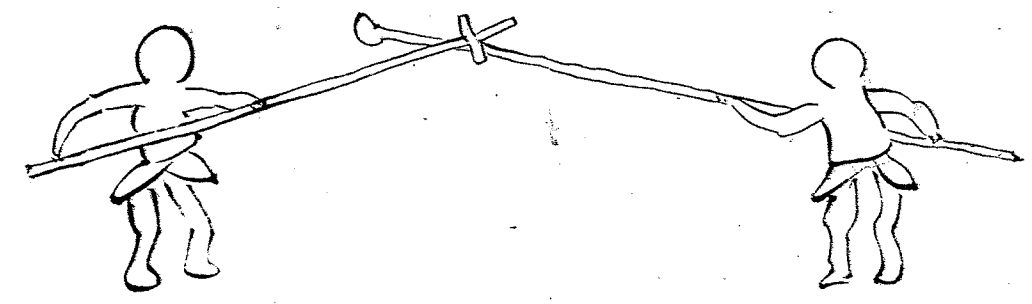
右ギヤク付調ム也



○ニツ歩始メ

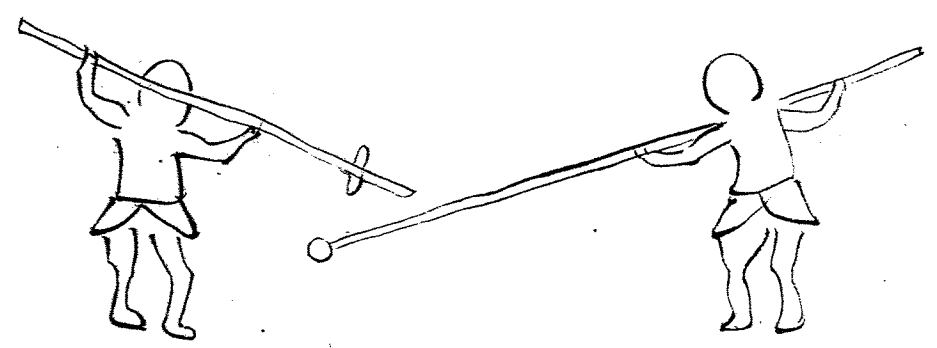
一 歩太刀上段突出ハ
処ヲ

遣身モ上段
片尺合セ直
槍引取処跡
シルス

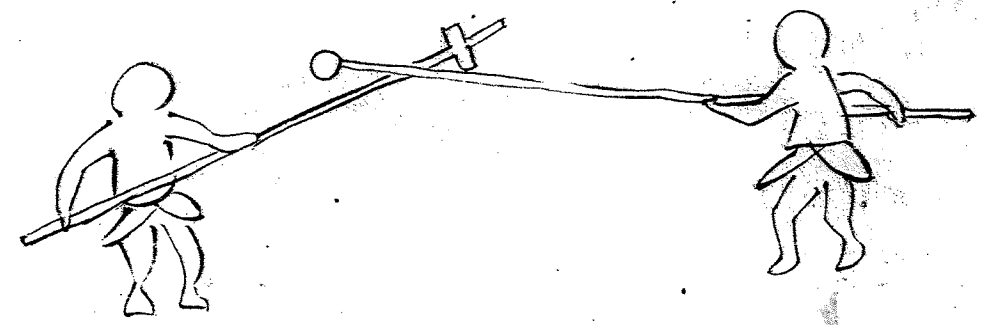


一 歩太刀引取処ハ

寄
遣身合イナリ
ノハト仕掛ル也跡
ハ次ニ託ナリ

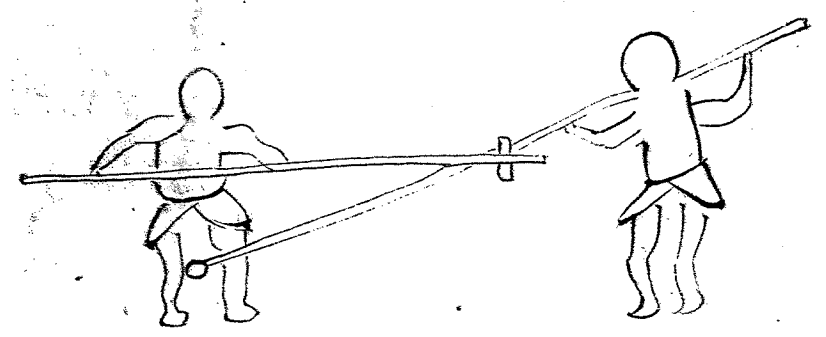


サ太刀又上段ノ
面へ突ナリ



遺身毛上
段ノ加ナ
捨テル跡
ハ次ニ託ス

サ太刀此通り
間キ勝ナリ
取ラヤル

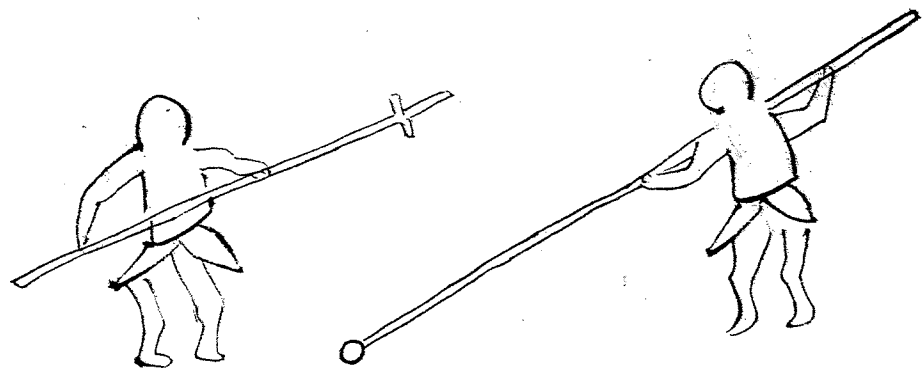


遺身毛上此通り
勝取ナリ
右ニナリ漏ム也

と一

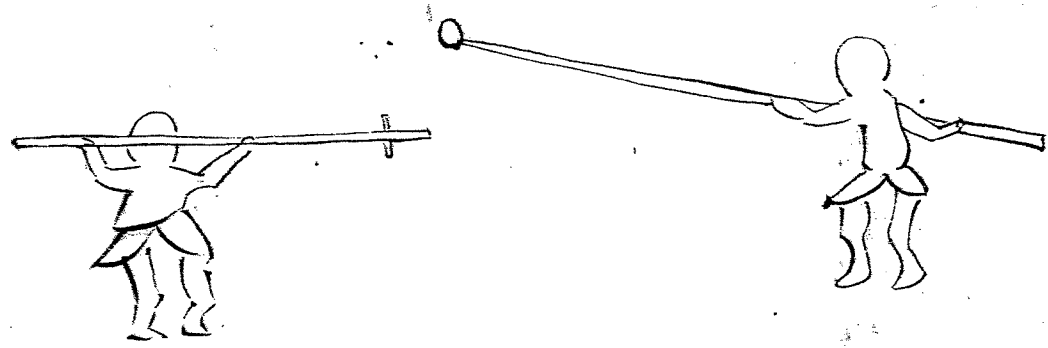
ホ太刀元リ閉ギ
構へ十字に構へ

遺身直槍ヨリ
拂つ処ヲ前へ
又ケル是ハ次
託ス也



一

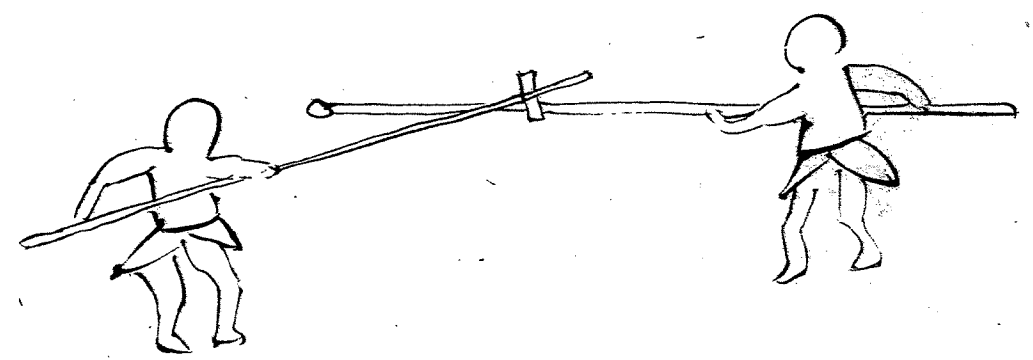
ホ太刀元リ
右へ構へ也



遺身前へ
中腰ハツ
ル也此ハ次
託ス也

古来カ歌ノ脇筆ヲ
実知ラ

遺言此通チ
テ話ル也是レ
テ勝取引別
也
右三テ二十四本終リ也



右文政元年十月後ノ為野水類書ニ
遺取ノ書ニ至也此通リ也
若殿様も持上至也後ニ此通遺取利合
進達事所ノ宣免ニテハ修メ多ク至ル事ハ
自分ノ類書出ル也我實花院胤憲先生
教ニ守リ此通書残也末ニ述モ是ヲ守リ
指南ニ致也

お江戸清瀬藩書之

行年七十六歳
野水秀祿

大書之吉松藩吉田氏之備用焉

嘉永三年戊辰

九月廿七日寫了

市野氏之惠

清原實賴 印

德川宗敬氏寄贈